

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-259708

(43)Date of publication of application : 22.09.2000

(51)Int.Cl.

G06F 17/60

(21)Application number : 11-065293

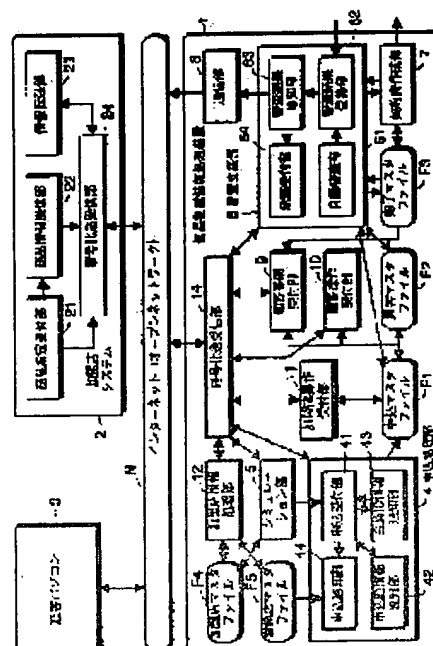
(71)Applicant : ORIENT CORP

(22)Date of filing : 11.03.1999

(72)Inventor : MORISAWA SHOJI  
SHIROTA YUKIYA**(54) DEVICE, METHOD AND SYSTEM FOR PROCESSING INDIVIDUAL ARTICLE ALLOTMENT INFORMATION, AND RECORDING MEDIUM RECORDING SOFTWARE FOR PROCESSING THE INFORMATION****(57)Abstract:**

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To efficiently and easily process information on the allotment of an individual product through an open network such as the Internet.

**SOLUTION:** A simulation part 5 executes the simulation payment by installments in the allotment of the individual article. An application receiving part 41 receives the application of the allotment of the individual article from a customer's personal computer 3 connected through the Internet. A judging result information part 63 gives information on a judging result obtained from an automatic judging part 61 and a judging result registering part 62 to an information destination such as an electric mail address previously designated concerning application by automatic transmission of a routine electronic mail or facsimile. A consent receiving part 64 receives consent by authenticated access concerning an application approved by judgment. A contract preparing part 7 prepares a contract by automatically printing necessary items to a paper based on application information concerning the application approved by the part 64.

**LEGAL STATUS**

[Date of request for examination] 31.05.2000

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 22.10.2002

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's]

**BEST AVAILABLE COPY**

decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開2000-259708

(P2000-259708A)

(43)公開日 平成12年9月22日(2000.9.22)

(51)Int.Cl.<sup>7</sup>

識別記号

FI

テーマコード(参考)

G 0 6 F 17/60

G 0 6 F 15/21

Z 5 B 0 4 9

審査請求 有 請求項の数37 OL (全 39 頁)

(21)出願番号

特願平11-65293

(22)出願日

平成11年3月11日(1999.3.11)

(71)出願人 595156322

株式会社オリエントコーポレーション  
東京都豊島区東池袋3丁目1番1号

(72)発明者 森澤 彰治

東京都豊島区東池袋3丁目1番1号 株式  
会社オリエントコーポレーション内

(72)発明者 代田 幸哉

東京都豊島区東池袋3丁目1番1号 株式  
会社オリエントコーポレーション内

(74)代理人 100081961

弁理士 木内 光春

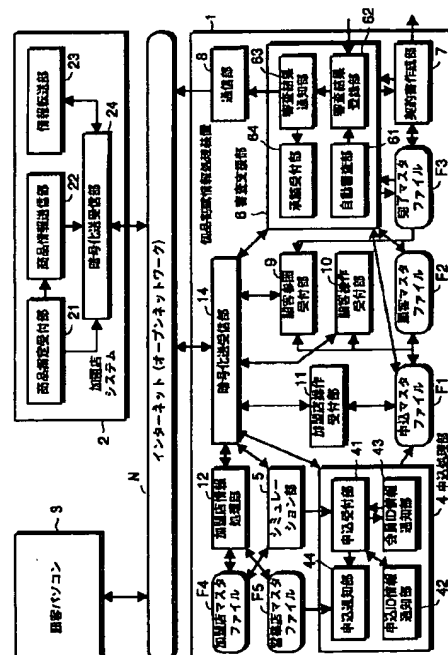
Fターム(参考) 5B049 AA01 AA02 BB11 BB46 CC01  
CC36 EE41 FF02 GG02 GG04  
GG07

(54)【発明の名称】 個品割賦情報処理装置及び方法、個品割賦情報処理システム並びに個品割賦情報処理用ソフトウェアを記録した記録媒体

(57)【要約】

【課題】 個品割賦に関する情報を、インターネットなどのオープンネットワークを経由して効率よく容易に処理する。

【解決手段】 シミュレーション部5は、個品割賦における分割払いのシミュレーションを行う。申込受付部41は、インターネットNを経由して接続される顧客パソコン3から、個品割賦の申込を受付する。審査結果通知部63は、自動審査部61や審査結果登録部62から得られる審査結果を、申込について予め指定された電子メールアドレスなどの連絡先に、定型電子メールやファックスの自動送信などで通知する。承諾受付部64は、審査によって可決された前記申込に関して、認証されたアクセスによる承諾を受け付ける。契約書作成部7は、承諾受付部64によって承諾された申込に関する申込情報に基づいて、用紙に必要項目を自動印字することによって契約書を作成する。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 個品割賦に関する情報を処理するための個品割賦情報処理装置において、オープンネットワークを経由して接続される第1のコンピュータから、前記個品割賦の申込を受付するための申込受付手段を備えたことを特徴とする個品割賦情報処理装置。

【請求項2】 前記申込に係る商品に関する情報を処理するための第2のコンピュータにその申込に関する申込情報の一部をオープンネットワークを経由して通知するための手段を備えたことを特徴とする請求項1記載の個品割賦情報処理装置。

【請求項3】 前記オープンネットワークは、インターネットであることを特徴とする請求項1又は2記載の個品割賦情報処理装置。

【請求項4】 前記個品割賦における分割払いのシミュレーションを行うためのシミュレーション手段を備えたことを特徴とする請求項1から3のいずれか1つに記載の個品割賦情報処理装置。

【請求項5】 前記申込を識別するための申込ID情報を前記第1のコンピュータに、オープンネットワークを経由して通知するための手段と、前記申込ID情報を用いて認証された前記オープンネットワーク経由のアクセスに対して、申込ID情報に対応する申込について、少なくとも申込の審査状況を含む予め決められた情報の参照を受け付けるための手段と、を備えたことを特徴とする請求項1から4のいずれか1つに記載の個品割賦情報処理装置。

【請求項6】 前記申込を識別するための申込ID情報を前記第1のコンピュータに通知するための手段と、前記申込ID情報を用いて認証された前記オープンネットワーク経由のアクセスに対して、申込ID情報に対応する申込について、少なくともその申込に関する申込情報の追加、修正又は申込のキャンセルのうち少なくともいずれかを含む操作を受け付けるための第1の操作受付手段と、を備えたことを特徴とする請求項1から5のいずれか1つに記載の個品割賦情報処理装置。

【請求項7】 前記申込に対して、申込者を識別するための会員ID情報を前記第1のコンピュータに通知するための手段を備え、前記申込受付手段は、前記会員ID情報を用いて認証されたアクセスに対して、その会員ID情報に対応する申込者について既に存在する申込情報の一部を省略して新たな申込を受け付けるように構成されたことを特徴とする請求項1から6のいずれか1つに記載の個品割賦情報処理装置。

【請求項8】 前記第2のコンピュータからのアクセスに対して、当該第2のコンピュータに係る前記申込について、少なくとも審査状況の参照を含む予め決められた

操作を受け付けるための第2の操作受付手段を備えたことを特徴とする請求項2から7のいずれか1つに記載の個品割賦情報処理装置。

【請求項9】 前記第1のコンピュータ及び第2のコンピュータのうち少なくとも一方と、暗号化された通信を行うための手段を備えたことを特徴とする請求項2から8のいずれか1つに記載の個品割賦情報処理装置。

【請求項10】 予め決められた基準に基づいて前記申込を審査するための審査手段を備えたことを特徴とする請求項1から9のいずれか1つに記載の個品割賦情報処理装置。

【請求項11】 前記申込に対する審査結果を登録するための手段と、審査結果を、申込について予め指定された連絡先に通知するための手段と、

を備えたことを特徴とする請求項1から10のいずれか1つに記載の個品割賦情報処理装置。

【請求項12】 前記審査によって可決された前記申込に関して、認証された申込者からのアクセスによる承諾を受け付けるための手段を備えたことを特徴とする請求項1から11のいずれか1つに記載の個品割賦情報処理装置。

【請求項13】 前記承諾された申込に関する申込情報に基づいて契約書を作成するための手段を備えたことを特徴とする請求項12記載の個品割賦情報処理装置。

【請求項14】 個品割賦に関する情報を処理するための個品割賦情報処理装置と、

前記個品割賦情報処理装置に設けられ、オープンネットワークを経由して接続される第1のコンピュータから前記個品割賦の申込を受付するための申込受付手段と、前記オープンネットワークによって前記個品割賦情報処理装置に接続され、前記申込に係る商品に関する情報を処理するための第2のコンピュータと、

を備えた個品割賦情報処理システムにおいて、前記第2のコンピュータは、

前記第1のコンピュータからオープンネットワークを経由して商品の指定を受け付けるための手段と、指定された商品に関する情報を、前記オープンネットワークを経由して前記個品割賦情報処理装置に送るための手段と、

を備えたことを特徴とする個品割賦情報処理システム。

【請求項15】 前記第2のコンピュータは、前記第1のコンピュータから受け取った情報の項目のうち、前記申込の受付で必要とされる情報と同じ項目の情報を、前記個品割賦情報処理装置に転送するための手段を備えたことを特徴とする請求項14記載の個品割賦情報処理システム。

【請求項16】 前記個品割賦情報処理装置は、前記個品割賦における分割払いのシミュレーションを行うためのシミュレーション手段を備え、

そのシミュレーション手段は、前記第2のコンピュータごとに予め指定された支払条件又は前記第2のコンピュータから指定される支払条件に基づいて前記シミュレーションを行うように構成されたことを特徴とする請求項14又は15記載の個品割賦情報処理システム。

【請求項17】 前記個品割賦情報処理装置は、前記第2のコンピュータを識別するための識別情報と、前記第2のコンピュータごとに予め指定された支払条件と、を含む加盟店情報を登録、修正、参照及び削除するための手段を備えたことを特徴とする請求項14から16のいずれか1つに記載の個品割賦情報処理システム。

【請求項18】 個品割賦に関する情報を処理するための個品割賦情報処理方法において、オープンネットワークを経由して接続される第1のコンピュータから、前記個品割賦の申込を受付するための申込受付ステップを含むことを特徴とする個品割賦情報処理方法。

【請求項19】 前記申込に係る商品に関する情報を処理するための第2のコンピュータにその申込に関する申込情報の一部をオープンネットワークを経由して通知するためのステップを含むことを特徴とする請求項18記載の個品割賦情報処理方法。

【請求項20】 前記オープンネットワークは、インターネットであることを特徴とする請求項18又は19記載の個品割賦情報処理方法。

【請求項21】 前記個品割賦における分割払いのシミュレーションを行うためのステップを含むことを特徴とする請求項18から20のいずれか1つに記載の個品割賦情報処理方法。

【請求項22】 前記申込を識別するための申込ID情報を前記第1のコンピュータに、オープンネットワークを経由して通知するためのステップと、前記申込ID情報を用いて認証された前記オープンネットワーク経由のアクセスに対して、申込ID情報に対応する申込について、少なくとも申込の審査状況を含む予め決められた情報の参照を受け付けるためのステップと、を含むことを特徴とする請求項18から21のいずれか1つに記載の個品割賦情報処理方法。

【請求項23】 前記申込を識別するための申込ID情報を前記第1のコンピュータに通知するためのステップと、前記申込ID情報を用いて認証された前記オープンネットワーク経由のアクセスに対して、申込ID情報に対応する申込について、少なくともその申込に関する申込情報の追加、修正又は申込のキャンセルのうち少なくともいずれかを含む操作を受け付けるためのステップと、を含むことを特徴とする請求項18から22のいずれか1つに記載の個品割賦情報処理方法。

【請求項24】 前記申込に対して、申込者を識別する

ための会員ID情報を前記第1のコンピュータに通知するためのステップを含み、

前記申込受付ステップは、前記会員ID情報を用いて認証されたアクセスに対して、その会員ID情報に対応する申込者について既に存在する申込情報の一部を省略して新たな申込を受け付けることを特徴とする請求項18から23のいずれか1つに記載の個品割賦情報処理方法。

【請求項25】 前記第2のコンピュータからのアクセスに対して、当該第2のコンピュータに係る前記申込について、少なくとも審査状況の参照を含む予め決められた操作を受け付けるためのステップを含むことを特徴とする請求項19から24のいずれか1つに記載の個品割賦情報処理方法。

【請求項26】 前記第1のコンピュータ及び第2のコンピュータのうち少なくとも一方と、暗号化された通信を行うためのステップを含むことを特徴とする請求項19から25のいずれか1つに記載の個品割賦情報処理方法。

【請求項27】 前記申込に対する審査結果を登録するためのステップと、審査結果を、申込について予め指定された連絡先に通知するためのステップと、を含むことを特徴とする請求項18から26のいずれか1つに記載の個品割賦情報処理方法。

【請求項28】 前記審査によって可決された前記申込に関して、認証された申込者からのアクセスによる承諾を受け付けるためのステップを含むことを特徴とする請求項18から27のいずれか1つに記載の個品割賦情報処理方法。

【請求項29】 前記承諾された申込に関する申込情報に基づいて契約書を作成するためのステップを含むことを特徴とする請求項28記載の個品割賦情報処理方法。

【請求項30】 個品割賦に関する情報を処理するための個品割賦情報処理装置が、オープンネットワークを経由して接続される第1のコンピュータから、前記個品割賦の申込を受付するための申込受付ステップと、前記オープンネットワークによって前記個品割賦情報処理装置に接続された第2のコンピュータが、前記申込に係る商品に関する情報を処理するためのステップと、を含む個品割賦情報処理方法において、前記第2のコンピュータにおいて、前記第1のコンピュータからオープンネットワークを経由して商品の指定を受け付けるためのステップと、指定された商品に関する情報を、前記第2のコンピュータから前記オープンネットワークを経由して前記個品割賦情報処理装置に送るためのステップと、を含むことを特徴とする個品割賦情報処理方法。

【請求項31】 前記個品割賦情報処理装置において、前記第2のコンピュータごとに予め指定された支払条件

又は前記第2のコンピュータから指定される支払条件に基づいて、前記個品割賦における分割払いのシミュレーションを行うためのステップを含むことを特徴とする請求項30記載の個品割賦情報処理方法。

【請求項32】 コンピュータを使って個品割賦に関する情報を処理するための個品割賦情報処理用ソフトウェアを記録した記録媒体において、そのソフトウェアは前記コンピュータに、オープンネットワークを経由して接続される第1のコンピュータから、前記個品割賦の申込を受け付けさせ、前記申込に係る商品に関する情報を処理するための第2のコンピュータにその申込に関する申込情報の一部をオープンネットワークを経由して通知させることを特徴とする個品割賦情報処理用ソフトウェアを記録した記録媒体。

【請求項33】 前記ソフトウェアは前記コンピュータに、前記個品割賦における分割払いのシミュレーションを行わせることを特徴とする請求項32記載の個品割賦情報処理用ソフトウェアを記録した記録媒体。

【請求項34】 前記ソフトウェアは前記コンピュータに、前記申込を識別するための申込ID情報を前記第1のコンピュータに、オープンネットワークを経由して通知させ、前記申込ID情報を用いて認証された前記オープンネットワーク経由のアクセスに対して、申込ID情報に対応する申込について、少なくとも申込の審査状況を含む予め決められた情報の参照を受け付けさせることを特徴とする請求項32又は33記載の個品割賦情報処理用ソフトウェアを記録した記録媒体。

【請求項35】 前記ソフトウェアは前記コンピュータに、前記申込を識別するための申込ID情報を前記第1のコンピュータに通知させ、前記申込ID情報を用いて認証された前記オープンネットワーク経由のアクセスに対して、申込ID情報に対応する申込について、少なくともその申込に関する申込情報の追加、修正又は申込のキャンセルのうち少なくともいずれかを含む操作を受け付けさせることを特徴とする請求項32から34のいずれか1つに記載の個品割賦情報処理用ソフトウェアを記録した記録媒体。

【請求項36】 前記ソフトウェアは前記コンピュータに、前記第2のコンピュータからのアクセスに対して、当該第2のコンピュータに係る前記申込について、少なくとも審査状況の参照を含む予め決められた操作を受け付けさせることを特徴とする請求項32から35のいずれか1つに記載の個品割賦情報処理用ソフトウェアを記録した記録媒体。

【請求項37】 コンピュータを使って個品割賦に関す

る情報を処理することによって個品割賦情報処理装置を実現するための第1のソフトウェアと、オープンネットワークによって前記個品割賦情報処理装置に接続された第2のコンピュータに、個品割賦の申込に係る商品に関する情報を処理させるための第2のソフトウェアと、を含む個品割賦情報処理用ソフトウェアを記録した記録媒体において、前記第1のソフトウェアは前記コンピュータに、オープンネットワークを経由して接続される第1のコンピュータから、前記個品割賦の申込を受け付けさせ、前記第2のソフトウェアは前記第2のコンピュータに、前記第1のコンピュータからオープンネットワークを経由して商品の指定を受け付けさせ、指定された商品に関する情報を、前記第2のコンピュータから前記オープンネットワークを経由して前記個品割賦情報処理装置に送らせることを特徴とする個品割賦情報処理用ソフトウェアを記録した記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、コンピュータを使って、個品割賦に関する情報処理を支援する技術の改良に関するもので、より具体的には、個品割賦に関する情報を、インターネットなどのオープンネットワークを経由して効率よく容易に処理するようにしたものである。

【0002】

【従来の技術】 従来から、信販会社では、クレジットカードなどのサービスに関する情報に加え、個品割賦に関する情報を処理している。ここで、個品割賦とは、信販会社の加盟店から顧客が購入する個々の具体的な商品の購入代金を、信販会社が加盟店に立替払いし、後に顧客から分割払いで立替金弁済を受けるサービスであり、自動車のいわゆるオートローンなどが広く知られている。

【0003】 従来、このような個品割賦の契約では、加盟店で作成した申込書や契約書を、加盟店から郵送やファックスなどで信販会社に送っていた。また、顧客による契約の内容承諾や、審査結果による契約可否の通知などに関する連絡は、信販会社から顧客や加盟店などに電話やファックスで行われていた。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、上記のような従来技術には、次のような問題点があった。

(A) まず、加盟店で申込書を手書きなどで作成していたため、手間がかかっていた。特に、個品割賦の申込書と契約書とは、互いに別々の書面であるため、書類の取り扱いや作成が煩雑であった。

【0005】 (B) また、加盟店から申込の際に送られてきた情報を記録したり審査するため、信販会社では、顧客に関する情報や商品に関するクレジット情報などをタイプ入力して登録するなどの作業が必要であり、この

点でも手間がかかっていた。

【0006】(C)また、顧客が申込内容を確認する手段は申込書の顧客控えしかなく、このような控えは保存が面倒で、紛失の可能性もあったため、申込内容の確認に不便が大きかった。また、信販会社に登録されている情報の内容を顧客が確認するには信販会社に電話などで尋ねるしかなく、このような問い合わせは顧客と信販会社双方にとって面倒であり、手間がかかるものであった。

【0007】(D)また、加盟店が申込内容を確認する手段も申込書の加盟店控えしかなく、その管理も面倒で加盟店の負担になっていた。また、加盟店が信販会社に登録されている情報の内容を確認するにも、信販会社に電話などで問い合わせるしかなく、このような面倒な手間は加盟店と信販会社双方の負担になっていた。

【0008】(E)さらに、引越などで顧客の住所のような属性情報を修正する場合、新住所などの修正内容を顧客が加盟店や信販会社に連絡しなければならず、このような連絡も面倒で手間がかかっていた。さらに、例えば保証人が必要になった場合や、契約内容を修正した場合などは、契約書の作り直しなどが発生し、顧客にとっても、加盟店や信販会社にとっても手間がかかっていた。

【0009】(F)加えて、顧客の年収や勤続年数など売買契約とは直接関係のない情報も加盟店が扱うため、顧客のプライバシー保護の充実が潜在的に求められていた。

【0010】本発明は、上記のような従来技術の問題点を解決するために提案されたもので、その目的は、個品割賦に関する情報を、インターネットなどのオープンネットワークを経由して効率よく容易に処理する個品割賦情報処理装置及び方法、個品割賦情報処理システム並びに個品割賦情報処理用ソフトウェアを記録した記録媒体を提供することである。また、本発明の他の目的は、顧客のプライバシーを効果的に保護することである。また、本発明の他の目的は、個品割賦を計画的かつ容易に利用できるようにすることである。

【0011】

【課題を解決するための手段】上記の目的を達成するために、請求項1の発明は、個品割賦に関する情報を処理するための個品割賦情報処理装置において、オープンネットワークを経由して接続される第1のコンピュータから、前記個品割賦の申込を受付するための申込受付手段を備えたことを特徴とする。請求項18の発明は、請求項1の発明を方法という見方からとらえたもので、個品割賦に関する情報を処理するための個品割賦情報処理方法において、オープンネットワークを経由して接続される第1のコンピュータから、前記個品割賦の申込を受付するための申込受付ステップを含むことを特徴とする。請求項1、18の発明では、顧客は、インターネットに

ダイヤルアップ接続するパーソナルコンピュータといった第1のコンピュータから、信販会社のインターネットサーバなどの個品割賦情報処理装置に対して、個品割賦の申込を直接かつ容易に行うことができる。すなわち、顧客が、加盟店などを通すことなく、信販会社に必要な情報を直接送って申込を行うので、加盟店での取次事務や信販会社でのタイプ入力といった負担が軽減され、処理が単純化迅速化されるとともに、顧客のプライバシーが効果的に保護される。なお、ここでいう直接とは、加盟店経由でないという意味であり、インターネットなどのオープンネットワークを経由せずに顧客が信販会社の設備に直接ダイヤルアップ接続などを行うような場合を意味するものではない。

【0012】請求項2の発明は、請求項1記載の個品割賦情報処理装置において、前記申込に係る商品に関する情報を処理するための第2のコンピュータにその申込に関する申込情報の一部をオープンネットワークを経由して通知するための手段を備えたことを特徴とする。請求項19の発明は、請求項2の発明を方法という見方からとらえたもので、請求項18記載の個品割賦情報処理方法において、前記申込に係る商品に関する情報を処理するための第2のコンピュータにその申込に関する申込情報の一部をオープンネットワークを経由して通知するためのステップを含むことを特徴とする。請求項32の発明は、請求項2、19の発明を、コンピュータのソフトウェアを記録した記録媒体という見方からとらえたもので、コンピュータを使って個品割賦に関する情報を処理するための個品割賦情報処理用ソフトウェアを記録した記録媒体において、そのソフトウェアは前記コンピュータに、オープンネットワークを経由して接続される第1のコンピュータから、前記個品割賦の申込を受け付けさせ、前記申込に係る商品に関する情報を処理するための第2のコンピュータにその申込に関する申込情報の一部をオープンネットワークを経由して通知させることを特徴とする。請求項2、19、32の発明では、信販会社などの個品割賦情報処理装置から、加盟店などの第2のコンピュータに、申込に関する申込情報の一部が通知される。このため、加盟店は商品の仕入れや出荷などの準備が容易になる一方、顧客の年収など加盟店に無関係な顧客のプライバシーが効果的に保護される。なお、ここでいう商品とは、狭義の流動性ある動産だけではなく、サービスなどの無形物や不動産のように、個品割賦すなわちクレジットやローンの対象となりうるものを広く意味する。

【0013】請求項3の発明は、請求項1又は2記載の個品割賦情報処理装置において、前記オープンネットワークは、インターネットであることを特徴とする。請求項20の発明は、請求項3の発明を方法という見方からとらえたもので、請求項18又は19記載の個品割賦情報処理方法において、前記オープンネットワークは、イ

インターネットであることを特徴とする。請求項3、20の発明では、オープンネットワークとしてインターネットを使うので、ウェブブラウザを備えたパーソナルコンピュータのような一般的なコンピュータから、24時間いつでもどこからでも、容易に個品割賦の申込などの手続きを行うことが可能となる。

【0014】請求項4の発明は、請求項1から3のいずれか1つに記載の個品割賦情報処理装置において、前記個品割賦における分割払いのシミュレーションを行うためのシミュレーション手段を備えたことを特徴とする。請求項21の発明は、請求項4の発明を方法という見方からとらえたもので、請求項18から20のいずれか1つに記載の個品割賦情報処理方法において、前記個品割賦における分割払いのシミュレーションを行うためのステップを含むことを特徴とする。請求項33の発明は、請求項4、21の発明を、コンピュータのソフトウェアを記録した記録媒体という見方からとらえたもので、請求項32記載の個品割賦情報処理用ソフトウェアを記録した記録媒体において、前記ソフトウェアは前記コンピュータに、前記個品割賦における分割払いのシミュレーションを行わせることを特徴とする。請求項4、21、33の発明では、オープンネットワーク経由で個品割賦の申込をしようとする顧客は、申込に先立って分割払いのシミュレーションを行うことができる。このため、負担の程度を事前に確認するための利便性が向上し、意思決定が容易になると共に、個品割賦の計画的な利用が促進される。

【0015】請求項5の発明は、請求項1から4のいずれか1つに記載の個品割賦情報処理装置において、前記申込を識別するための申込ID情報を前記第1のコンピュータに、オープンネットワークを経由して通知するための手段と、前記申込ID情報を用いて認証された前記オープンネットワーク経由のアクセスに対して、申込ID情報に対応する申込について、少なくとも申込の審査状況を含む予め決められた情報の参照を受け付けるための手段と、を備えたことを特徴とする。請求項22の発明は、請求項5の発明を方法という見方からとらえたもので、請求項18から21のいずれか1つに記載の個品割賦情報処理方法において、前記申込を識別するための申込ID情報を前記第1のコンピュータに、オープンネットワークを経由して通知するためのステップと、前記申込ID情報を用いて認証された前記オープンネットワーク経由のアクセスに対して、申込ID情報に対応する申込について、少なくとも申込の審査状況を含む予め決められた情報の参照を受け付けるためのステップと、を含むことを特徴とする。請求項34の発明は、請求項5、22の発明を、コンピュータのソフトウェアを記録した記録媒体という見方からとらえたもので、請求項32又は33記載の個品割賦情報処理用ソフトウェアを記録した記録媒体において、前記ソフトウェアは前記コン

ピュータに、前記申込を識別するための申込ID情報を前記第1のコンピュータに、オープンネットワークを経由して通知させ、前記申込ID情報を用いて認証された前記オープンネットワーク経由のアクセスに対して、申込ID情報に対応する申込について、少なくとも申込の審査状況を含む予め決められた情報の参照を受け付けさせることを特徴とする。請求項5、22、34の発明では、申込者は、申込の審査状況などの情報について、所定の営業時間内に加盟店などに電話するといった条件に煩わされることなく、オープンネットワーク経由で24時間いつでもどこからでもホームページなどで容易に直接確認することが可能となり、加盟店や信販会社の負担も軽減される。なお、申込ID情報の具体的な形式は、申込番号と認証IDの組み合わせや、両者を合わせて単一の番号やIDとするなど、自由に定めることができる。また、申込者を特定する会員番号のような会員ID情報を申込ID情報に代えて用いることもできる。

【0016】請求項6の発明は、請求項1から5のいずれか1つに記載の個品割賦情報処理装置において、前記申込を識別するための申込ID情報を前記第1のコンピュータに通知するための手段と、前記申込ID情報を用いて認証された前記オープンネットワーク経由のアクセスに対して、申込ID情報に対応する申込について、少なくともその申込に関する申込情報の追加、修正又は申込のキャンセルのうち少なくともいずれかを含む操作を受け付けるための第1の操作受付手段と、を備えたことを特徴とする。請求項23の発明は、請求項6の発明を方法という見方からとらえたもので、請求項18から22のいずれか1つに記載の個品割賦情報処理方法において、前記申込を識別するための申込ID情報を前記第1のコンピュータに通知するためのステップと、前記申込ID情報を用いて認証された前記オープンネットワーク経由のアクセスに対して、申込ID情報に対応する申込について、少なくともその申込に関する申込情報の追加、修正又は申込のキャンセルのうち少なくともいずれかを含む操作を受け付けるためのステップと、を含むことを特徴とする。請求項35の発明は、請求項6、23の発明を、コンピュータのソフトウェアを記録した記録媒体という見方からとらえたもので、請求項32から34のいずれか1つに記載の個品割賦情報処理用ソフトウェアを記録した記録媒体において、前記ソフトウェアは前記コンピュータに、前記申込を識別するための申込ID情報を前記第1のコンピュータに通知させ、前記申込ID情報を用いて認証された前記オープンネットワーク経由のアクセスに対して、申込ID情報に対応する申込について、少なくともその申込に関する申込情報の追加、修正又は申込のキャンセルのうち少なくともいずれかを含む操作を受け付けさせることを特徴とする。請求項6、23、35の発明では、申込者は、保証人の補充といった申込情報の追加、入力ミスや住所変更などによ



る情報の修正や、申込のキャンセルなどについて、所定の営業時間内に加盟店などに電話するといった条件に煩わされことなく、オープンネットワーク経由で24時間いつでもどこからでもホームページなどで容易に直接行うことが可能となり、加盟店や信販会社の負担も軽減される。

【0017】請求項7の発明は、請求項1から6のいずれか1つに記載の個品割賦情報処理装置において、前記申込に対して、申込者を識別するための会員ID情報を前記第1のコンピュータに通知するための手段を備え、前記申込受付手段は、前記会員ID情報を用いて認証されたアクセスに対して、その会員ID情報に対応する申込者について既に存在する申込情報の一部を省略して新たな申込を受け付けるように構成されたことを特徴とする。請求項24の発明は、請求項7の発明を方法という見方からとらえたもので、請求項18から23のいずれか1つに記載の個品割賦情報処理方法において、前記申込に対して、申込者を識別するための会員ID情報を前記第1のコンピュータに通知するためのステップを含み、前記申込受付ステップは、前記会員ID情報を用いて認証されたアクセスに対して、その会員ID情報に対応する申込者について既に存在する申込情報の一部を省略して新たな申込を受け付けることを特徴とする。請求項7、24の発明では、例えば顧客が希望した場合に、会員番号やパスワードのような会員ID情報を顧客に発行し、次の個品割賦申込のときは、それらを入力してもらうことで、住所、氏名、生年月日といった既存の情報の入力を省略できるので、個品割賦の申込が容易になる。

【0018】請求項8の発明は、請求項2から7のいずれか1つに記載の個品割賦情報処理装置において、前記第2のコンピュータからのアクセスに対して、当該第2のコンピュータに係る前記申込について、少なくとも審査状況の参照を含む予め決められた操作を受け付けるための第2の操作受付手段を備えたことを特徴とする。請求項25の発明は、請求項8の発明を方法という見方からとらえたもので、請求項9から24のいずれか1つに記載の個品割賦情報処理方法において、前記第2のコンピュータからのアクセスに対して、当該第2のコンピュータに係る前記申込について、少なくとも審査状況の参照を含む予め決められた操作を受け付けるためのステップを含むことを特徴とする。請求項36の発明は、請求項8、25の発明を、コンピュータのソフトウェアを記録した記録媒体という見方からとらえたもので、請求項32から35のいずれか1つに記載の個品割賦情報処理用ソフトウェアを記録した記録媒体において、前記ソフトウェアは前記コンピュータに、前記第2のコンピュータからのアクセスに対して、当該第2のコンピュータに係る前記申込について、少なくとも審査状況の参照を含む予め決められた操作を受け付けさせることを特徴と

する。請求項8、25、36の発明では、申込のあった商品を扱う加盟店などは、申込の審査状況の参照などを、決められた営業時間内に信販会社に電話したりすることなく、24時間いつでも行えるので、商品仕入れなどの準備が容易になる。

【0019】請求項9の発明は、請求項2から8のいずれか1つに記載の個品割賦情報処理装置において、前記第1のコンピュータ及び第2のコンピュータのうち少なくとも一方と、暗号化された通信を行うための手段を備えたことを特徴とする。請求項26の発明は、請求項9の発明を方法という見方からとらえたもので、請求項19から25のいずれか1つに記載の個品割賦情報処理方法において、前記第1のコンピュータ及び第2のコンピュータのうち少なくとも一方と、暗号化された通信を行うためのステップを含むことを特徴とする。請求項9、26の発明では、顧客や加盟店のコンピュータとの通信がSSLなどによって暗号化されるので、申込など個品割賦に関する手続きにおいて、顧客のプライバシーが第三者から保護されると共に、情報の窃取、改竄、なりすましなどの不正が効果的に防止される。

【0020】請求項10の発明は、請求項1から9のいずれか1つに記載の個品割賦情報処理装置において、予め決められた基準に基づいて前記申込を審査するための審査手段を備えたことを特徴とする。請求項10の発明では、顧客の勤続年数や事故情報の有無といった属性を、与信基準にしたがって点数化（スコアリング）することで、審査の全部又は一部を自動化でき、審査の負担が軽減される。

【0021】請求項11の発明は、請求項1から10のいずれか1つに記載の個品割賦情報処理装置において、前記申込に対する審査結果を登録するための手段と、審査結果を、申込について予め指定された連絡先に通知するための手段と、を備えたことを特徴とする。請求項27の発明は、請求項11の発明を方法という見方からとらえたもので、請求項18から26のいずれか1つに記載の個品割賦情報処理方法において、前記申込に対する審査結果を登録するためのステップと、審査結果を、申込について予め指定された連絡先に通知するためのステップと、を含むことを特徴とする。請求項11、27の発明では、申込時に入力されたアドレスに電子メールを自動送信するなどによって、審査結果の通知のための事務処理負担を軽減することができる。

【0022】請求項12の発明は、請求項1から11のいずれか1つに記載の個品割賦情報処理装置において、前記審査によって可決された前記申込に関して、認証された申込者からのアクセスによる承諾を受け付けるための手段を備えたことを特徴とする。請求項28の発明は、請求項12の発明を方法という見方からとらえたもので、請求項18から27のいずれか1つに記載の個品割賦情報処理方法において、前記審査によって可決され

た前記申込に関して、認証された申込者からのアクセスによる承諾を受け付けるためのステップを含むことを特徴とする。請求項12、28の発明では、申込者は、可決された申込の内容を最終的に承諾するにあたって、所定の営業時間内に加盟店などと電話などでやりとりするといった条件に煩わされることがない。すなわち、申込者は、上記のような承諾を、オープンネットワーク経由で24時間いつでもどこからでも、個品割賦情報処理装置がサーバとして提供するウェブページなどで容易に直接行うことが可能となり、加盟店や信販会社の負担も軽減される。なお、承諾とは、名称にかかわらず、申込の内容と審査により申込が可決されたことを承諾する操作を広く意味する。また、このような承諾をウェブページ上で申込者にしてもらうには、例えば、審査結果通知の電子メールで専用画面のアドレスを案内するなどすればよい。

【0023】請求項13の発明は、請求項12記載の個品割賦情報処理装置において、前記承諾された申込に関する申込情報に基づいて契約書を作成するための手段を備えたことを特徴とする。請求項29の発明は、請求項13の発明を方法という見方からとらえたもので、請求項28記載の個品割賦情報処理方法において、前記承諾された申込に関する申込情報に基づいて契約書を作成するためのステップを含むことを特徴とする。請求項13、29の発明では、顧客が入力した申込情報に基づいて必要事項を用紙に自動印字するなどして、契約書が自動的に作成される。このため、顧客や加盟店は契約書作成の事務処理負担が軽減され、顧客のプライバシーが保護される。

【0024】請求項14の個品割賦情報処理システムは、個品割賦に関する情報を処理するための個品割賦情報処理装置と、前記個品割賦情報処理装置に設けられ、オープンネットワークを経由して接続される第1のコンピュータから前記個品割賦の申込を受付するための申込受付手段と、前記オープンネットワークによって前記個品割賦情報処理装置に接続され、前記申込に係る商品に関する情報を処理するための第2のコンピュータと、を備えた個品割賦情報処理システムにおいて、前記第2のコンピュータは、前記第1のコンピュータからオープンネットワークを経由して商品の指定を受け付けるための手段と、指定された商品に関する情報を、前記オープンネットワークを経由して前記個品割賦情報処理装置に送るための手段と、を備えたことを特徴とする。請求項30の個品割賦情報処理方法は、請求項14の発明を方法という見方からとらえたもので、個品割賦に関する情報を処理するための個品割賦情報処理装置が、オープンネットワークを経由して接続される第1のコンピュータから、前記個品割賦の申込を受付するための申込受付ステップと、前記オープンネットワークによって前記個品割賦情報処理装置に接続された第2のコンピュータが、前

記申込に係る商品に関する情報を処理するためのステップと、を含む個品割賦情報処理方法において、前記第2のコンピュータにおいて、前記第1のコンピュータからオープンネットワークを経由して商品の指定を受け付けるためのステップと、指定された商品に関する情報を、前記第2のコンピュータから前記オープンネットワークを経由して前記個品割賦情報処理装置に送るためのステップと、を含むことを特徴とする。請求項37の発明は、請求項14、30の発明を、コンピュータのソフトウェアを記録した記録媒体という見方からとらえたもので、コンピュータを使って個品割賦に関する情報を処理することによって個品割賦情報処理装置を実現するための第1のソフトウェアと、オープンネットワークによって前記個品割賦情報処理装置に接続された第2のコンピュータに、個品割賦の申込に係る商品に関する情報を処理させるための第2のソフトウェアと、を含む個品割賦情報処理用ソフトウェアを記録した記録媒体において、前記第1のソフトウェアは前記コンピュータに、オープンネットワークを経由して接続される第1のコンピュータから、前記個品割賦の申込を受け付けさせ、前記第2のソフトウェアは前記第2のコンピュータに、前記第1のコンピュータからオープンネットワークを経由して商品の指定を受け付けさせ、指定された商品に関する情報を、前記第2のコンピュータから前記オープンネットワークを経由して前記個品割賦情報処理装置に送らせることを特徴とする個品割賦情報処理用ソフトウェアを記録した記録媒体。請求項14、30、37の発明では、顧客が第1のコンピュータから、加盟店などの第2のコンピュータにアクセスし、そのウェブページなどで商品を指定すれば、商品に関する情報が信販会社などの個品割賦情報処理装置に転送される。このため、顧客は、そのままさらに個品割賦情報処理装置にアクセスすることで、指定した商品を前提として分割払いシミュレーションや個品割賦申込を容易に行うことが可能となる。

【0025】請求項15の発明は、請求項14記載の個品割賦情報処理システムにおいて、前記第2のコンピュータは、前記第1のコンピュータから受け取った情報の項目のうち、前記申込の受付で必要とされる情報と同じ項目の情報を、前記個品割賦情報処理装置に転送するための手段を備えたことを特徴とする。請求項15の発明では、加盟店などの第2のコンピュータにおいて、顧客の住所氏名など個品割賦申込受付でも使える項目が入力済の場合、それら項目の情報を転送することで、信販会社などの個品割賦情報処理装置で個品割賦申込の際に顧客に入力してもらう情報項目を減らすことができ、申込が容易になる。

【0026】請求項16の発明は、請求項14又は15記載の個品割賦情報処理システムにおいて、前記個品割賦情報処理装置は、前記個品割賦における分割払いのシミュレーションを行うためのシミュレーション手段を備

え、そのシミュレーション手段は、前記第2のコンピュータごとに予め指定された支払条件又は前記第2のコンピュータから指定される支払条件に基づいて前記シミュレーションを行うように構成されたことを特徴とする。請求項31の発明は、請求項16の発明を方法という見方からとらえたもので、請求項30記載の個品割賦情報処理方法において、前記個品割賦情報処理装置において、前記第2のコンピュータごとに予め指定された支払条件又は前記第2のコンピュータから指定される支払条件に基づいて、前記個品割賦における分割払いのシミュレーションを行うためのステップを含むことを特徴とする。請求項16、31の発明では、第2のコンピュータを識別するなどして、対応する加盟店などが予め指定している支払条件を前提としたり、商品の金額などに応じてその都度第2のコンピュータから指定される支払条件に基づいたシミュレーションが可能となる。すなわち、加盟店や金額ごとに異なる支払条件に対応したシミュレーションが可能となるので、シミュレーションの有用性が向上する。

【0027】請求項17の発明は、請求項14から16のいずれか1つに記載の個品割賦情報処理システムにおいて、前記個品割賦情報処理装置は、前記第2のコンピュータを識別するための識別情報と、前記第2のコンピュータごとに予め指定された支払条件と、を含む加盟店情報を登録、修正、参照及び削除するための手段を備えたことを特徴とする。請求項17の発明では、加盟店ごとに第2のコンピュータを識別するための識別情報や、加盟店指定の支払条件、その加盟店を担当している信販会社の営業店といった加盟店情報を登録し、参照や修正、削除といった操作を行えるので、最新の加盟店情報に基づいた的確な処理が容易になる。

#### 【0028】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態（以下「実施形態」という）について図面を参照しながら説明する。ここで、本発明は、周辺装置を持つコンピュータを、ソフトウェアで制御することによって実現されることが一般的と考えられる。この場合、そのソフトウェアは、この明細書の記載にしたがった命令を組み合わせて作られ、従来技術と共通の部分には従来技術で説明した技術も使われる。また、そのソフトウェアは、プログラムコードだけでなく、プログラムコードの実行のときに使うために予め用意されたデータも含む。

【0029】また、そのソフトウェアは、上記コンピュータのCPUやその周辺回路、キーボードやマウスといった入力装置、メモリやハードディスク装置といった記憶装置、ディスプレイやプリンタといった出力装置、ネットワーク接続装置などの物理的な資源を活用することで本発明や本実施形態の作用効果を実現する。

【0030】但し、本発明を実現する具体的なソフトウェアやハードウェアの構成はいろいろ変更することがで

きる。例えば、ソフトウェアの形式はコンパイラ、インタプリタなどいろいろ考えられ、また、本発明を実現するソフトウェアを記録したCD-ROMのような記録媒体は、単独でも本発明の一態様である。さらに、本発明の機能の一部をLSIなどの物理的な電子回路で実現することも可能である。

【0031】以上のように、コンピュータを使って本発明を実現する態様はいろいろ考えられるので、以下では、本発明や実施形態に含まれる個々の機能を実現する仮想的回路ブロックを使って、本発明と実施形態とを説明する。

#### 【0032】〔1. 構成〕

〔1-1. 全体の構成〕図1は、本実施形態の構成を示す機能ブロック図である。すなわち、本実施形態は、個品割賦に関する情報と、個品割賦に係る商品に関する情報と、を処理するための個品割賦情報処理システムであり、個品割賦情報処理装置1と、加盟店システム2とを、オープンネットワークの一種であるインターネットNで接続したものである。

【0033】このうち、個品割賦情報処理装置1は、個品割賦に関する情報を処理するために、信販会社に設けられたコンピュータであり、インターネットNを経由して接続される顧客のパーソナルコンピュータ（前記第1のコンピュータに相当するもの。以下「顧客パソコン」と呼ぶ）3から、個品割賦の申込を受付するように構成されている。

【0034】また、加盟店システム2は、個品割賦情報処理装置1を使っている信販会社の加盟店が、前記個品割賦の申込の対象となりうるものを含め、商品に関する情報を処理するための第2のコンピュータである。なお、ここでいう商品とは、流動性のある動産といった狭義の商品だけではなく、サービスなどの無形物や不動産のように、個品割賦すなわちクレジットやローンの対象となりうるものを広く意味する。

【0035】また、個品割賦情報処理装置1及び加盟店システム2は、インターネットサーバとしての構成を持ち、インターネットNに常時又は一時的に接続される他のコンピュータに対して、HTTPや電子メール送受信プロトコルなどを用いて商品やサービスに関する情報を提供したり、それら他のコンピュータとの間で情報をやり取りするように構成されている。

【0036】特に、個品割賦情報処理装置1及び加盟店システム2は、顧客パソコン3などの他のコンピュータに対してウェブページを表示することによって、各種手続きや操作を受け付けるように構成されている。

【0037】なお、ウェブページというときは、HTML及びウェブブラウザの働きで表示される個々のページを意味し、互いに関連づけられた一群のウェブページ群をウェブサイトと呼ぶ。また、ウェブサイトを代表するウェブページをホームページと呼ぶ。

【0038】また、顧客パソコン3は、ウェブブラウザや電子メールソフトウェアなどを備えた一般的なパーソナルコンピュータであり、常時接続のものでもよいが、顧客が必要とするときだけ自主的かつ一時的に、インターネットN、個品割賦情報処理装置1、加盟店システム2などに、インターネット接続プロバイダ経由のダイヤルアップなどで、TCP/IP接続されることが一般と考えられる。以下、個品割賦情報処理装置1及び加盟店システム2の具体的な構成を説明する。

【0039】〔1-2. シミュレーション及び申込受付に関する構成〕まず、個品割賦情報処理装置1は、インターネットN経由で顧客パソコン3との間で、個品割賦のシミュレーション提供や申込受付を行うため、申込処理部4と、シミュレーション部5と、申込マスタファイルF1と、顧客マスタファイルF2と、を備えている。このうち申込処理部4は、個品割賦の申込の受付に関する処理を行う部分であり、申込受付部41と、申込ID情報通知部42と、会員ID情報通知部43と、申込通知部44と、を備えている。

【0040】このうち、申込受付部41は、インターネットNを経由して接続される顧客パソコン3から、個品割賦の申込を受付するための申込受付手段であり、この申込のときに顧客パソコン3から提供される顧客の属性などの情報を申込情報と呼ぶ。なお、申込後は、申込に関する審査状況など、申込に関連する他の情報も含めて申込情報と呼ぶ。

【0041】この申込情報は、顧客の勤続年数といった属性に関する情報（属性情報と呼ぶ）と、割賦金額や分割払い回数といった申込内容に関する情報（内容情報と呼ぶ）と、を含む。そして、申込マスタファイルF1は、前記内容情報を格納するファイルであり、顧客マスタファイルF2は、前記属性情報を格納するファイルである。

【0042】また、申込ID情報通知部42は、個品割賦の申込受付時に、申込を識別するための申込ID情報を、顧客パソコン3にインターネットNを経由して通知するための手段である。

【0043】また、会員ID情報通知部43は、個品割賦の申込に際して、顧客が希望した場合に、申込者すなわち顧客を識別するための会員ID情報を顧客パソコン3に通知するための手段であり、申込受付部11は、このように通知された会員ID情報を用いて認証されたアクセスに対しては、その会員ID情報に対応する顧客について既に存在する申込情報の一部を省略して新たな申込を受け付けるように構成されている。

【0044】また、申込通知部13は、その申込に関する申込情報の一部をインターネットNを経由して加盟店システム2に通知するための手段である。

【0045】また、シミュレーション部5は、個品割賦における分割払いのシミュレーションを行うためのシミ

ュレーション手段である。

【0046】〔1-3. 審査及び契約書作成に関する構成〕また、個品割賦情報処理装置1は、申込の審査に関する手続きや契約書作成を支援するため、審査支援部6と、完了マスタファイルF3と、契約書作成部7と、通信部8と、を備えている。このうち審査支援部6は、個品割賦の申込の審査やそれに関連する手続きを支援するための部分であり、自動審査部61と、審査結果登録部62と、審査結果通知部63と、承諾受付部64と、を備えている。

【0047】このうち自動審査部61は、個品割賦の申込を、予め決められた基準に基づいて審査するための審査手段であり、具体的には、顧客の勤続年数や事故情報の有無といった属性を、与信基準にしたがって点数化（スコアリング）することで、審査の全部又は一部を自動化するための部分である。

【0048】また、審査結果登録部62は、申込に対する手作業による審査結果を登録するための手段であり、審査結果通知部63は、自動審査部61や審査結果登録部62から得られる審査結果を、申込について予め指定された電子メールアドレスなどの連絡先に、定型電子メールやファックスの自動送信などで通知するための手段である。また、通信部8は、このような電子メールやファックスなどによる通信を行う部分である。

【0049】また、承諾受付部64は、審査によって可決された前記申込に関して、申込ID情報又は会員ID情報を用いて認証されたアクセスによる承諾を受け付けるための手段である。また、完了マスタファイルF3は、上記のように審査や承諾が済んだ申込に関する情報を格納するファイルである。

【0050】また、契約書作成部7は、承諾受付部64によって承諾された申込に関する申込情報に基づいて、用紙に必要項目を自動印字することによって契約書を作成するための手段である。

【0051】〔1-4. 参照と操作に関する構成〕また、個品割賦情報処理装置1は、顧客パソコン3や加盟店システム2からインターネットN経由で、申込の審査状況などの参照やキャンセルなどの操作を受け付けるため、顧客参照受付部9と、顧客操作受付部10と、加盟店操作受付部11と、を備えている。

【0052】このうち、顧客参照受付部9は、前記申込ID情報又は会員ID情報を用いて認証されたインターネットN経由のアクセスに対して、申込ID情報又は会員ID情報に対応する申込について、申込の審査状況を含む情報の参照を受け付けるための手段である。なお、申込や申込者の識別には、CPUのチップ番号、CookieやIPアドレスなどに基づいた識別を併用すればセキュリティが向上する。

【0053】また、顧客操作受付部10は、前記申込ID情報又は会員ID情報を用いて認証された前記インタ

ーネットN経由のアクセスに対して、申込ID情報又は会員ID情報に対応する申込について、少なくともその申込に関する申込情報の追加、修正及び申込のキャンセルを受け付けるための第1の操作受付手段である。

【0054】また、加盟店操作受付部11は、加盟店システム2からのアクセスに対して、当該加盟店システム2に係る個品割賦の申込について、審査状況の参照などの操作を受け付けるための第2の操作受付手段である。

【0055】〔1-5. 加盟店システムの構成〕また、本実施形態では、顧客は、加盟店システム2のウェブページで買いたい商品を指定したうえ、ハイパーテキストのリンクなどでそのまま信販会社の個品割賦情報処理装置1のウェブサイトへジャンプし、その加盟店の指定する支払条件にしたがって、そのままその商品の分割払いシミュレーションや個品割賦の申込を行うことができる。

【0056】すなわち、加盟店システム2は、商品指定受付部21と、商品情報送信部22と、情報転送部23と、を備えており、このうち商品指定受付部21は、顧客パソコン3からインターネットNを経由して商品の指定を受け付けるための手段である。

【0057】また、商品情報送信部22は、指定された商品に関する情報（商品情報又は売上情報と呼ぶ）を、インターネットNを通じて個品割賦情報処理装置1に送るための手段である。また、情報転送部23は、顧客パソコン3から受け取った情報の項目のうち、少なくとも、個品割賦情報処理装置1における個品割賦の申込受付で必要とされる情報と同じ項目の情報を、個品割賦情報処理装置1に転送するための手段である。

【0058】〔1-6. 加盟店に関する情報を処理するための構成〕また、個品割賦情報処理装置1は、加盟店ごとの情報や支払条件などに応じた情報処理を行うため、次のように構成されている。まず、個品割賦情報処理装置1は、各加盟店ごとの支払条件などの情報（加盟店情報と呼ぶ）を保存及び更新するために、加盟店情報処理部12と、加盟店マスタファイルF4と、営業店マスタファイルF5と、を備えている。

【0059】このうち加盟店情報処理部12は、加盟店情報を登録、修正、参照及び削除するための手段であり、加盟店ごとの加盟店情報は、その加盟店の加盟店システム2を識別するための識別情報であるマーチャントID、加盟店システム2ごとに予め指定された支払条件、信販会社のどの営業店がその加盟店を担当しているかを表す情報などを含む。

【0060】特に、各加盟店を担当している営業店に関する連絡先などの情報を営業店情報と呼び、営業店マスタファイルF5は、このような営業店情報を格納するファイルである。また、加盟店マスタファイルF4は、営業店情報を除く加盟店情報を格納するファイルである。

【0061】そして、個品割賦情報処理装置1のシミュ

レーション部5は、加盟店システム2ごとに予め指定された支払条件を加盟店マスタファイルF4から参照したり、又は、加盟店システム2から指定される支払条件にしたがうことで、前記シミュレーションを行うように構成されている。

【0062】〔1-7. 暗号化通信に関する構成〕また、個品割賦情報処理装置1は、顧客パソコン3及び加盟店システム2と、SSLなどで暗号化された通信を行うための手段である暗号化送受信部14を備えている。同様に、加盟店システム2も、個品割賦情報処理装置1及び顧客パソコン3と暗号化された通信を行うための暗号化送受信部24を備えている。また、顧客パソコン3も、ウェブブラウザといったソフトウェアなどによって、同様に暗号化送受信を行うように構成されているものとする。

【0063】〔1-8. マスタファイルの構成例〕ここで、図2(a)は、加盟店マスタファイルF4の内容（加盟店マスタと呼ぶ）の一例を示す概念図である。この加盟店マスタは各加盟店について、個品割賦即ちローンの場合の条件すなわち支払条件と、カードすなわちクレジットカードの場合の支払条件とを含んでいる。

【0064】また、図2(b)は、申込マスタファイルF1の内容（申込マスタと呼ぶ）の一例を示す概念図である。この申込マスタは、個品割賦の申込に関する申込情報の具体的な内容として、本人の生年月日や住所といった本人情報、学生の両親や法人の連帯保証人といった参考人や保証人の情報、個品割賦の対象とする商品や支払条件などに関する商品情報やクレジット情報などを含んでいる。

【0065】〔2. 作用〕以上のように構成された本実施形態は、次のように作用する。まず、図3は、本実施形態において、顧客が利用する顧客パソコン3と、加盟店が利用する加盟店システム2と、信販会社が利用する個品割賦情報処理装置1に関する処理手順の一例を示すフローチャートである。

【0066】〔2-1. 加盟店情報の処理〕本実施形態の個品割賦情報処理システムを運用するには、まず、個品割賦情報処理装置1を利用する信販会社は、個品割賦を取り扱うことができる販売店などの加盟店に関する加盟店情報を、加盟店情報処理部12によって登録し、その後も随時、必要に応じて追加、参照、修正や削除といった処理を行う（ステップ101）。

【0067】ここで、加盟店情報には、加盟店や加盟店システム2を識別するためマーチャントIDのような識別情報と、加盟店システム2ごとに予め指定された支払条件、その加盟店を担当している信販会社の営業店に関する営業店情報（が含まれる。そして、前記営業店情報は営業店マスタファイルF5に格納され、それ以外の加盟店情報は、加盟店マスタファイルF4に格納される。

【0068】ここで、図4は、信販会社やその営業店な

どが、インターネットNや社内端末などから加盟店情報処理部12を使って加盟店情報を処理する場合について、画面構成の一例を示す概念図である。すなわち、操作者が、加盟店情報メニュー画面G11(図5)で、処理の種類すなわち新規登録、参照、修正、削除などを選択すると、この選択に応じた画面群が表示される。

【0069】例えば、加盟店情報の新規登録が選択された場合、加盟店基本情報登録画面G12(図6)で、加盟店の名称、住所や加盟店番号といった基本情報を登録し、加盟店条件登録画面G13(図7)やG132(図8)で、その加盟店で利用できる分割払いの支払条件などを登録し、営業店情報登録画面G14(図9)で、その加盟店を担当する信販会社の営業店に関する情報を登録することになる。

【0070】なお、加盟店条件登録画面G13(図7)では、取扱契約番号が、各支払条件のパターンに対応しており、取扱契約番号を増やせるようにし、さらに、変則払いなどにも対応できるようにすることが望ましい。

【0071】〔2-2. 商品の指定と商品情報の転送〕そして、顧客は、個品割賦情報処理装置1のシミュレーション部5によって、個品割賦における分割払いのシミュレーションを、随時何回でも行うことができる(ステップ302, 102)。ここで、顧客は、インターネットNを経由して個品割賦情報処理装置1に対して直接、商品や加盟店などを指定して個品割賦の申込や分割払いのシミュレーションをすることもできる。

【0072】また、顧客は、このような商品の指定などを加盟店システム2のウェブサイトで行い(ステップ301, 201)、情報を加盟店システム2から個品割賦情報処理装置1に転送させたい、リンクで個品割賦情報処理装置1のウェブサイトにジャンプし、分割払いのシミュレーション(ステップ302, 102)や個品割賦の申込(ステップ303, 103)を行うこともできる。

【0073】この場合、加盟店システム2の商品指定受付部21は、顧客パソコン3からインターネットNを経由して商品の指定を受け付ける(ステップ201)。また、加盟店システム2の商品情報送信部22は、指定された商品に関する情報を、インターネットNを通じて個品割賦情報処理装置1へ送る(ステップ201)。

【0074】例えば、顧客が加盟店システム2のウェブサイトで見たい商品を見つけ、個品割賦すなわちローンによる分割払いのシミュレーションを希望した場合を考える。この場合、顧客が、加盟店システム2のウェブページ上の指示にしたがい、商品指定受付部21の働きによってウェブページ上で商品を指定したうえ、ウェブページ上に表示されたシミュレーションのためのボタンをマウスでクリックしたとする。

【0075】すると、加盟店システム2の商品情報送信部22が個品割賦情報処理装置1へ、その加盟店システ

ム2に予め割り当てられたマーチャントIDとともに、商品名やローン対象金額など、個品割賦の対象とする商品に関する情報をすなわち商品情報を送信する(ステップ201)。ここで、マーチャントIDは、加盟店を判別するために識別情報として、信販会社が採番した番号であり、個品割賦情報処理装置1では、このように加盟店システム2から送信されたマーチャントIDと、加盟店マスタファイルF4に格納されたマーチャントIDとを照合することによって、加盟店システム2を識別することができる。

【0076】〔2-3. 分割払いのシミュレーション〕上記のような情報を受信した個品割賦情報処理装置1のシミュレーション部5は、マーチャントIDによる加盟店認証に続いて、その加盟店の支払条件を表示する。すなわち、個品割賦のシミュレーションを行う場合、個品割賦情報処理装置1のシミュレーション部5は、加盟店ごとに予め指定された支払条件を加盟店マスタファイルF4から読み出したり、加盟店システム2からその都度指定される支払条件に基づいてシミュレーションを行う。

【0077】ここで、図10は、加盟店がウェブサイトによって構築したバーチャルショップ(加盟店ショップと呼ぶ)から転送された情報に基づいて、顧客が分割払いのシミュレーションを行う場合の画面構成の一例を示す概念図である。

【0078】すなわち、上記のシミュレーションのためのボタンをクリックした顧客の顧客パソコン3では、加盟店システム2のウェブサイトからのリンクによって、アクセス先が個品割賦情報処理装置1のウェブサイトにジャンプする。そして、シミュレーション入力画面G21(図11)の表示内容(シミュレーションフォームと呼ぶ)に従い、支払方法の選択などを行えば、シミュレーション結果画面G22(図12)として、個品割賦に係る分割払いのシミュレーション結果が表示される。

【0079】〔2-4. 情報の転送〕また、顧客が、商品について正式にローンでの購入を希望する場合は、例えば加盟店システム2のウェブサイトの商品の指定やその他の必要事項を画面入力したうえ、個品割賦申込用のボタンをマウスでクリックする。この場合、顧客パソコン3のアクセス先がリンクによって個品割賦情報処理装置1のウェブサイトへジャンプすると共に、加盟店システム2の情報転送部23が、個品割賦情報処理装置1に情報を送信する。

【0080】ここで、加盟店から転送される情報には、必須項目と任意項目とが考えられる。このうち必須項目としては、マーチャントID、加盟店が採番したキーとなる申込番号、商品名、数量、金額、申込合計金額などが考えられ、一度の送信あたり、商品名、数量、金額は複数設定できるようにすることも可能である。

【0081】また、任意項目として、加盟店のウェブサ

イトで顧客パソコン3から受け取った顧客に関する情報の項目のうち、個品割賦の申込の受付で必要とされる情報と同じ項目の情報、例えば氏名や住所を、個品割賦情報処理装置1へ転送することも考えられる。

【0082】これによって、顧客は、同じ情報を繰り返し入力するような二度手間を避けることができる。具体的には、例えば加盟店システム2のウェブサイトで入力される情報のフィールドすべてに番号を設定し、転送させるなどが考えられるが、このような任意項目は必須ではなく、加盟店側の仕組み、ポリシー、判断などによつて、内容や、個品割賦情報処理装置1へ転送するかどうかなどを決定すればよい。

【0083】また、任意項目として、分割回数などの支払条件を加盟店システム2側で案件ごとに指定することも考えられ、この場合、支払条件などに対応して取扱番号を指定し転送できるようにすることが望ましい。

【0084】さらに、本発明で必須ではないが、例えば加盟店がコールセンターなどで取り集めた申込内容にしたがって個品割賦情報処理装置1に対して個品割賦申込の登録を行う場合、どの担当者からの申込かを判別するために、担当者コードを転送できるようにしてもよい。

【0085】〔2-5. 画面での個品割賦申込〕そして、個品割賦情報処理装置1では、申込処理部4の申込受付部41が、顧客パソコン3からインターネットN経由で直接、個品割賦の申込を受け付ける（ステップ303、102）。なお、ここでいう直接とは、加盟店経由でないという意味であり、インターネットなどのオープンネットワークを経由せずに顧客が信販会社の設備に直接ダイヤルアップ接続などを行うような場合を意味するものではない。

【0086】具体的には、個品割賦情報処理装置1では、加盟店システム2の商品情報送信部22及び情報転送部23から送信された上記のような情報を受信すると、加盟店マスタファイルF4などに基づいて、マーチャントIDにより加盟店認証を行い、申込処理部4の申込受付部41が、ウェブページとして構成された所定の画面群（ローン画面と呼ぶ）を顧客パソコン3に表示する。

【0087】ここで、図13は、個品割賦申込のための画面構成の一例を示す図である。すなわち、この申込においては、利用規約画面G31（図14）で個品割賦情報処理装置1での個品割賦申込の利用規約を承認し、支払方法選択画面G32（図15）で支払方法を選択する。また、支払方法決定契約形態選択画面G33（図16）では、支払方法の確定と、個人、法人といった契約形態の選択を行う。

【0088】すると、住所、生年月日、勤務先といった基本情報を入力するための画面として、選択された契約形態に応じて、勤め人用画面G34（図17）、主婦用画面G35（図18）、学生用画面G36（図19）、

法人用画面G37（図20）、保証人用画面G38（図21）といった画面が表示されるので、顧客はこれらの画面の入力欄を使って必要事項を入力する。

【0089】なお、これらのローン画面において、個品割賦即ちローンの申込に必要な情報の項目を入力するための構成をローンフォームと呼ぶ。すなわち、顧客は、ローンフォームに従い、申込に必要な情報をすべて入力して登録し、登録内容確認画面G39（図22）で登録内容を確認する。そして、顧客が例えば画面中の所定のボタンをマウスでクリックすると、申込受付部41は、必須項目の抜けがないかのチェックなどを行ったうえ、顧客の属性に関する情報は顧客マスタファイルF2に、申込に関するそれ以外の情報は申込マスタファイルF1に格納する。

【0090】〔2-6. ID情報の通知〕上記のように申込が行われると、申込処理部4の申込ID情報通知部42が、申込を識別するための申込ID情報を、インターネットNを経由して顧客パソコン3に通知する。すなわち、申込ID情報通知部42は、申込を受け付けた旨の申込手続き完了画面G310（図23）をウェブページとして顧客パソコン3に転送し、顧客パソコン3では、画面に、受付番号と、認証IDが表示される。

【0091】ここで、申込ID情報の具体的な形式は、上記のような申込番号と認証IDの組み合わせの他、両者を合わせて単一の番号やIDとするなど、自由に定めることができるが、この例では、申込ID情報は、受付番号と認証IDから構成されるものとする。

【0092】また、申込時に顧客が、例えば登録内容確認画面G39（図22）などの表示にしたがって「会員IDを取得する」を希望した場合、申込処理部4の会員ID情報通知部43が、その顧客を識別するための会員ID情報として、新しい会員番号とパスワードも顧客パソコン3に画面表示することによって通知する（図23）。

【0093】これに対応して、申込処理部4の申込受付部41は、そのような会員ID情報を用いて認証されたアクセスに対しては、その会員ID情報に対応する顧客について既に存在する申込情報の一部を省略して新たな申込を受け付ける。つまり、このような会員番号とパスワードがある場合、2回目からは必要事項の再登録が不要となるので、顧客の利便性が向上する。

【0094】なお、会員ID情報は、申込ID情報の役割を兼ねるものと考えことができ、個品割賦を申込した顧客は、その後情報参照などのためにログイン認証を受ける際に、申込ID情報に代えて会員ID情報を用いることができる。

【0095】〔2-7. 加盟店への申込の通知と参照〕上記のように個品割賦の申込が行われた場合、個品割賦情報処理装置1では、申込処理部4の申込通知部44が、どのような申込があったかを表す申込情報の一部

を、インターネットNを経由して加盟店システム2に通知する(ステップ104)。ただし、このとき、認証IDのように顧客のプライバシーに結びつくような情報は通知しない。また、この通知は、ファックスなど、オープンネットワーク以外の手段で行ってもよい。図24は、このような通知内容の一例を示す図である。

【0096】この通知は、申込の受付番号を含んでおり、この通知を受けた加盟店は、個品割賦情報処理装置1のウェブサイトのうち予め決められた部分のウェブサイト(加盟店サイト又はマーチャントサービス画面と呼ぶ)を使って、審査状況などを参照することができる(ステップ202)。ここで、このようなウェブサイトは加盟店操作受付部11の働きによって実現され(ステップ105)、また、図25は、加盟店サイトの画面構成の一例を示す図である。

【0097】すなわち、加盟店サイトでは、加盟店サイトログイン画面G41(図26)において、予め提供されるマーチャントIDとパスワードでログイン認証したうえ、加盟店メニュー一覧画面G42(図27)で申込情報と、シミュレーションのいずれかを選択する。

【0098】ここで申込情報が選択された場合は、申込情報検索画面G43(図28)で検索条件を指定し、それに合致する申込情報を申込情報表示画面G44(図29)で確認することができる。また、加盟店メニュー一覧画面G42(図27)でシミュレーションが選択された場合は、シミュレーション部5の働きによって、図10や図11と同様に、シミュレーション入力画面G44(図30)及びシミュレーション結果表示画面G441(図31)で、個品割賦に係る分割払いのシミュレーションを行うことができる。

【0099】〔2-8. 営業店からの参照〕また、上記のような申込情報の参照は、信販会社の営業店からインターネットNや社内ネットワークなどを経由して行えるようにしてもよい。そして、個品割賦情報処理装置1のウェブサイトのうち、このような営業店からの参照に応じるための部分を営業店サイトと呼ぶ。そして、図32は、このような営業店サイトの画面構成の一例を示す図である。

【0100】すなわち、営業店サイトでは、営業店サイトログイン画面G51(図33)において、予め決められた各営業店のメンバーIDとパスワードなどでログイン認証したうえ、営業店メニュー一覧画面G52(図34)で、申込情報とシミュレーションのいずれかを選択する。

【0101】ここで申込情報が選択された場合は、申込情報検索画面G53(図35)で検索条件を指定し、それに合致する申込情報を申込情報表示画面G54(図36)で確認することができる。また、営業店メニュー一覧画面G52(図34)でシミュレーションが選択された場合は、シミュレーション部5の働きによって、顧客

や加盟店と同様に、個品割賦に係る分割払いのシミュレーションを行うことができる。

【0102】〔2-9. 審査〕以上のように受付された個品割賦の申込については、信販会社にて審査が行われる(ステップ106)。そして、申込によっては、審査支援部6の自動審査部61が、予め決められた基準に基づいて自動審査することも考えられる。このような自動審査に適した申込の条件としては、過去の利用実績、勤続年数や年収などが一定の基準を満たしていること、割賦金額が一定以内であること、過去に支払遅延等の事故情報がないことなど、自由に定めることができる。

【0103】そして、このような条件も含めて自動審査部61が申込について自動審査を行い、このような自動審査の結果を端末に出力して担当者が確定させたり、上記のような自動審査の条件に合致しない申込について、情報を端末に表示したり、確認指示票などを自動出力することによって、担当者が手作業による審査を行うなどの例が考えられる。なお、図37に例示するように、例えば信販会社の営業店に申込内容を通知し、営業店で実際の審査を行うようにしてもよい。

【0104】〔2-10. 審査結果の登録と通知〕上記のような審査結果としては、仮可決、否決、保証人要など、自由に定めることができ、自動審査の結果が確定され、又は手作業による審査結果が審査支援部6の審査結果登録部62によって登録されると、審査結果は、審査結果通知部63によって、顧客と加盟店とに通知される(ステップ106)。

【0105】なお、顧客への通知は、申込について予め指定された連絡先が、例えば電子メールアドレス、ファックス番号のように自動的な処理に適したものである場合は、通信部8によって自動的に行うことが望ましいが、例えば、指定されている連絡先が自宅、勤務先や携帯電話の電話番号の場合は、端末などに表示される指示にしたがって担当者が電話したり、自動音声による案内などを用いることも考えられる。

【0106】〔2-11. 顧客による承諾〕特に、審査によって可決された申込の内容については、契約書の作成に先立って、顧客による承諾を受けるものとし(ステップ305)、このような承諾は、申込処理部4の承諾受付部64によって受け付けることができる(ステップ105)。すなわち、申込処理部4の承諾受付部64は、審査によって可決された申込に関して、申込の時に発行した申込ID情報又は会員ID情報を用いて認証されたアクセスによる承諾を受け付ける(ステップ107)。

【0107】なお、承諾とは、名称にかかわらず、申込の内容とそれに対する審査結果である可決と、を承諾する操作を広く意味する。また、このような承諾をウェブページ上で顧客にしてもらうためには、例えば、審査結果を顧客に通知するときに、申込用のウェブサイト(ユ



ーザーサイト又はカスタマーサービス画面と呼ぶ)のURLなどを案内し、内容確認ならびに承諾の作業をするよう通知を行えばよい。

【0108】このような通知を受けた顧客は、上記カスタマーサービス画面に、申込IDと認証ID、もしくは会員IDとパスワードでログインし、ローン内容の確認を行う。そして、内容があていば、ローン申込の承諾を行うが、以下に説明するように、申込のキャンセルなど他の操作を行うこともできる。

【0109】〔2-12. 顧客及び加盟店による操作〕  
また、上記のような審査の流れの前でも後でも、個品割賦の申込を行った顧客は、自分が行った個品割賦の申込について、個品割賦情報処理装置1の顧客参照受付部9によって審査状況などを参照することができる(ステップ304)。すなわち、個品割賦情報処理装置1の顧客参照受付部9は、申込ID情報又は会員ID情報を用いて認証されたインターネットN経由のアクセスに対して、その申込ID情報又は会員ID情報に対応する申込について、申込の審査状況など予め決められた情報の参照を受け付ける(ステップ105)。

【0110】また、顧客は、自分が行った申込にかかるローン内容に誤りがあったり、もしくは数量変更や商品の一部削除といった修正などを行いたい場合、個品割賦情報処理装置1の顧客操作受付部10によってそのような修正や申込のキャンセルなどの操作を行うことができる(ステップ304)。すなわち、顧客操作受付部10は、前記申込ID情報又は会員ID情報通を用いて認証されたインターネットN経由のアクセスに対して、その申込ID情報又は会員ID情報に対応する申込について、その申込に関する申込情報の追加、修正又は申込のキャンセルを含む所定の操作を受け付ける(ステップ105)。

【0111】〔2-13. 修正等に関する具体的な処理〕具体的には、顧客は、このような参照や操作を行う場合、申込受付時に通知された申込ID情報によって、顧客パソコン3から個品割賦情報処理装置1の顧客参照受付部9や顧客操作受付部10によって実現されるウェブサイトへログインすればよい。

【0112】また、顧客によって申込内容が修正された場合、個品割賦情報処理装置1からは、加盟店システム2に対して修正通知が送られ(ステップ104)、このような通知を受けた加盟店は、上記マーチャントサービス画面で修正に対する承諾登録を行う必要がある(ステップ202)。そして、このような加盟店からの操作は、個品割賦情報処理装置1の加盟店操作受付部11が受け付ける。

【0113】すなわち、加盟店操作受付部11は、加盟店システム2からのアクセスに対して、当該加盟店システム2すなわち加盟店に係る申込について、少なくとも審査状況の参照や上記のような承諾登録といった予め決

められた操作を受け付ける(ステップ105)。また、上記のような申込内容の修正に対して、加盟店が承諾できない場合は、加盟店側にて加盟店操作受付部11の働きによってキャンセル処理することも可能である。

【0114】また、審査結果が保証人要の場合、顧客は、上記カスタマーサービス画面で保証人を追加登録するか、もしくは申込のキャンセル登録を行う。そして、顧客が保証人を追加した場合は、審査を再度行う必要があり、保証人の確認は電子メール、ウェブページや電話などで行えばよい。

【0115】また、個品割賦情報処理装置1のウェブサイトのうち、申込を済ませた顧客申込内容の承諾や修正などを行う部分を、上記のようにユーザーサイト又はカスタマーサービス画面と呼ぶが、図38は、ユーザーサイトの画面構成の一例を示す概念図である。

【0116】すなわち、ユーザーサイトでは、ユーザーサイトログイン画面G61(図39)でログインし、ユーザーサイトメニュー一覧画面G62(図40)で申込内容の確認や属性情報の修正を選択し、申込内容確認画面G63(図41)などで必要な確認や承諾等の操作を行う。

【0117】〔2-14. 契約書の作成と加盟店に関する処理〕上記のように、顧客が承諾受付部64によって個品割賦申込の承諾作業を行うと(ステップ107)、契約書作成部7は、承諾された申込にかかる個品割賦契約の契約書を、申込情報の一部や契約番号など必要な情報を用紙に印字することによって作成する(ステップ108)。ここで、図42は、上記のように作成される契約書の一例を示す図である。

【0118】このように作成された契約書は、自動封入や手作業などで発送され、郵送や宅配便などによって顧客宅に届けられ(ステップ108)、届いた契約書は顧客が署名・捺印のうち同封の返信用封筒などで信販会社に返送される(ステップ306)。そして、信販会社では、契約書を回収すると、内容を確認のうえ可決登録や集計処理などの必要な処理を行ったうえ、承認番号などの必要事項を、加盟店、特に加盟店システム2に通知して商品提供を指示する(ステップ109)。

【0119】そして、以上のように個品割賦契約が確定すると、加盟店では顧客に対して商品を提供し(ステップ203)、信販会社は商品代金を加盟店に立替払いし(ステップ110)、顧客は割賦金額を信販会社に分割払いする(ステップ307)。このように一連の処理が終了した個品割賦に関する申込情報などのデータは、完了マスタファイルF3に保存される。なお、顧客による承諾や契約書返送が、催促しても期限内に行われないような場合は、申込はキャンセル扱いとなり、その申込に関する情報の処理は終了する。

【0120】〔2-15. 情報通信の暗号化その他の処理〕また、個品割賦情報処理装置1と加盟店システム2

と顧客パソコン3と、間でやりとりされる以上のような情報は、個品割賦情報処理装置1の暗号化送受信部14、加盟店システム2の暗号化送受信部24及び顧客パソコン3のブラウザ等の働きによって、暗号化された通信によって受け渡される。

【0121】なお、本発明に必須ではないが、個品割賦の申込の操作は、顧客に代わって加盟店担当者が行うことも可能であり、この場合、加盟店システム2のウェブサイトから個品割賦情報処理装置1のウェブサイトへリンクするのではなく、個品割賦情報処理装置1のローン申込画面で直接加盟店担当者が登録作業を行う。

【0122】〔3. 効果〕以上説明したように、本実施形態では、個品割賦情報処理装置1の申込処理部4、特に申込受付部41の働きにより、顧客は、インターネットにダイヤルアップ接続するパーソナルコンピュータなどの顧客パソコン3から、信販会社のインターネットサーバなどとして構築された個品割賦情報処理装置1に対して、個品割賦の申込を直接かつ容易に行うことができる。

【0123】すなわち、顧客が、加盟店などを通することなく、信販会社に必要な情報を直接送って申込を行うので、加盟店での取次事務や信販会社でのタイプ入力といった負担が軽減され、処理が単純化迅速化されるとともに、顧客のプライバシーが効果的に保護される。

【0124】また、本実施形態では、信販会社などに設けられた個品割賦情報処理装置1の申込通知部44の働きにより、加盟店システム2に、申込に関する申込情報の一部が通知される。このため、加盟店は商品の仕入れや出荷などの準備が容易になる一方、顧客の年収など加盟店に無関係な顧客のプライバシーは効果的に保護される。

【0125】また、本実施形態では、オープンネットワークとしてインターネットを使うので、ウェブブラウザを備えたパーソナルコンピュータのような一般的なコンピュータから、24時間いつでもどこからでも、容易に個品割賦の申込などの手続きを行うことが可能となる。

【0126】また、本実施形態では、個品割賦情報処理装置1のシミュレーション部5の働きにより、インターネット経由で個品割賦の申込をしようとする顧客は、申込に先立って分割払いのシミュレーションを行うことができる。このため、負担の程度を事前に確認するための利便性が向上し、意思決定が容易になると共に、個品割賦の計画的な利用が促進される。

【0127】また、本実施形態では、個品割賦情報処理装置1の顧客参照受付部9の働きにより、顧客は、申込の審査状況などの情報について、所定の営業時間内に加盟店などに電話するといった条件に煩わされることなく、インターネット経由で24時間いつでもどこからでもウェブページなどで容易に直接確認することが可能となり、加盟店や信販会社の負担も軽減される。

【0128】また、本実施形態では、個品割賦情報処理装置1の顧客操作受付部10の働きにより、顧客は、保証人の補充といった申込情報の追加、入力ミスや住所変更などによる情報の修正や、申込のキャンセルなどについて、所定の営業時間内に加盟店などに電話するといった条件に煩わされることなく、インターネット経由で24時間いつでもどこからでもウェブページなどで容易に直接行うことが可能となり、加盟店や信販会社の負担も軽減される。

【0129】また、本実施形態では、顧客操作受付部10の申込処理部4、特に会員ID情報通知部43及び申込受付部41の働きにより、例えば顧客が希望した場合に、会員番号やパスワードのような会員ID情報を顧客に発行し、次の個品割賦申込のときは、それらを入力してもらうことで、住所、氏名、生年月日といった既存の情報の入力を省略できるので、個品割賦の申込が容易になる。

【0130】また、本実施形態では、個品割賦情報処理装置1の加盟店操作受付部11の働きにより、申込のあった商品を扱う加盟店などは、申込の審査状況の参照などを、決められた営業時間内に信販会社に電話したりすることなく、24時間いつでも行えるので、商品仕入れなどの準備が容易になる。

【0131】また、本実施形態では、個品割賦情報処理装置1の暗号化送受信部14、加盟店システム2の暗号化送受信部24及び顧客パソコン3上のソフトウェアなどの働きにより、顧客や加盟店のコンピュータとの通信がSSLなどによって暗号化される。このため、申込など個品割賦に関する手続きにおいて、顧客のプライバシーが第三者から保護されると共に、情報の窃取、改竄、なりすましなどの不正が効果的に防止される。

【0132】また、本実施形態では、個品割賦情報処理装置1の審査支援部6、特に自動審査部61の働きにより、顧客の勤続年数や事故情報の有無といった属性を、与信基準にしたがって点数化（スコアリング）することで、審査の全部又は一部を自動化でき、審査の負担が軽減される。

【0133】また、本実施形態では、個品割賦情報処理装置1の審査支援部6、特に審査結果通知部63、及び通信部8の働きにより、申込時に入力されたアドレスに電子メールを自動送信するなどによって、審査結果の通知のための事務処理負担を軽減することができる。

【0134】また、本実施形態では、顧客は、可決された申込の内容を最終的に承諾するにあたって、所定の営業時間内に加盟店などと電話などでやりとりするといった条件に煩わされることはない。すなわち、個品割賦情報処理装置1の審査支援部6、特に承諾受付部64の働きにより、顧客は、上記のような承諾を、オープンネットワーク経由で24時間いつでもどこからでも、個品割賦情報処理装置がサーバとして提供するウェブページな

どで容易に直接行うことが可能となり、加盟店や信販会社の負担も軽減される。

【0135】また、本実施形態では、個品割賦情報処理装置1の契約書作成部7の働きにより、顧客が入力した申込情報に基づいて必要事項を用紙に自動印字するなどして、契約書が自動的に作成される。このため、顧客や加盟店は契約書作成の事務処理負担が軽減され、顧客のプライバシーが保護される。

【0136】また、本実施形態では、加盟店システム2の商品指定受付部21及び商品情報送信部22の働きにより、顧客が顧客パソコン3から、加盟店システム2にアクセスし、そのウェブページなどで商品を指定すれば、商品に関する情報が個品割賦情報処理装置1に転送される。このため、顧客は、そのままさらに個品割賦情報処理装置1にアクセスすることで、指定した商品を前提として分割払いシミュレーションや個品割賦申込を容易に行うことが可能となる。

【0137】また、本実施形態では、加盟店システム2の情報転送部23の働きにより、加盟店システム2において、顧客の住所氏名など個品割賦申込受付でも使える項目が入力済の場合、それら項目の情報を転送することで、信販会社などの個品割賦情報処理装置1で個品割賦申込の際に顧客に入力してもらう情報項目を減らすことができ、申込が容易になる。

【0138】また、本実施形態では、加盟店マスタファイルF4及びシミュレーション部5などの働きにより、加盟店システム2を識別するなどして、対応する加盟店などが予め指定している支払条件を前提としたり、商品の金額などに応じてその都度加盟店システム2から指定される支払条件に基づいたシミュレーションが可能となる。すなわち、加盟店や金額ごとに異なる支払条件に対応したシミュレーションが可能となるので、シミュレーションの有用性が向上する。

【0139】また、本実施形態では、加盟店情報処理部12の働きにより、加盟店ごとに第2のコンピュータを識別するための識別情報や、加盟店指定の支払条件、加盟店を担当する信販会社の営業店といった加盟店情報を登録し、参照や修正、削除といった操作を行えるので、最新の加盟店情報に基づいた的確な処理が容易になる。

【0140】〔4. 本実施形態によるメリットの具体例〕次に、本実施形態によるメリットについて、項目ごとについて改めて具体的に説明する。

〔4-1. 電子化によるメリット〕すなわち、本実施形態では、顧客が信販会社に送る情報は、電子化された機械可読型のデジタルデータである。このため、申込や契約書作成といった個品割賦契約に必要な処理のフローすなわち流れが、オートメーション化すなわち自動化され、信販会社を中心としたコンピュータシステムによって、一元的かつ効率的に処理できる。つまり、信販会社では、デジタルデータを受け入れることで申込処理が自

動化されるので、手書き文字を改めてタイプ入力処理する必要が省ける。

【0141】さらに、電子化された情報は正確に伝達されるため、手書きの契約内容を電話などで確認する確認業務なども不要となり、事務手続きも簡素化される。また、個品割賦を処理センターのような設備で一元処理し、個品割賦の申込から契約書の印刷までを一元化、ストリームライン化することによって、設備の効率化を図ることができる。また、電子化された情報に基づいて個品割賦を処理することによって、例えば暗号化技術や電子署名等を応用した電子契約書への対応も容易になる。

【0142】また、従来では、コンピュータ設備や手作業の手順などで実現される個品割賦情報処理システムは、加盟店ごとにそれぞれ構築しなければならず、さらに個々の加盟店ないし個々のケースごとに個品割賦の申込から契約書の郵送までを行わなければならなかったが、このような加盟店に係わる負担も不要になる。

【0143】そして、個品割賦に係る加盟店のみならず顧客にとっても、書類記入などの事務作業が効率化・簡素化される。また、個品割賦の申込受付や審査などに関する信販会社などの負担が大幅に軽減されることから、カード会員のような信販会社の既存会員だけでなく、新規顧客についても処理が容易になる。

【0144】〔4-2. オープンネットワークの利用によるメリット〕また、本実施形態では、オープンネットワークを利用することで、顧客はいつでもどこからでも個品割賦契約の申込を行うことが容易になる。また、オープンネットワークを経由して情報をやり取りすることで、加盟店と、消費者と、信販会社との間の連携が充実する。また、オープンネットワーク、特にインターネットを利用することによって、専用線などと比べて回線コストの削減を図ることができる。

【0145】さらに、加盟店や顧客が、申込や審査の状況、審査結果などの履歴について、いつでもどこからでもウェブサイトの画面上などで、容易に参照することが可能となる。また、キャンセル登録、クーリングオフ、属性情報の修正、保証人などの追加処理、売上情報の修正などの手続きも、オープンネットワークを通じていつでも容易に処理することが可能となる。

【0146】特に、本実施形態では、暗号化送受信部14や24などによって、オープンネットワーク利用時のセキュリティを確保することにより、電子商取引の安全確保及び利便促進が図られる。

【0147】〔4-3. 加盟店側のメリット〕すなわち、まず、加盟店側から見ると、契約手続きが簡素化されるというメリットがある。すなわち、従来は加盟店側で行っていた契約書の作成、契約書の郵送、顧客の管理などが不要になる。

【0148】また、加盟店にとって、ローンに対するシステム開発が不要となるというメリットがある。すなわ

ち、従来では、ローンすなわち個品割賦のシステムは、加盟店個々に開発を行っていたが、上記実施形態のように信販会社側で個品割賦に関するシステムを構築するため、ローンのシステムを独自に開発する負担が不要になる。

【0149】また、加盟店にとって、審査状況の確認ならびに売上管理を24時間いつでも行えるというメリットがある。すなわち、従来では、審査状況を確認するには、所定の時間帯に加盟店から信販会社に電話やファックスなどで連絡するしか方法がなかったが、オープンネットワークを活用することにより、24時間いつでも確認することが可能となる。

【0150】また、キャンセル登録などの手続きもオープンネットワークを活用することにより、24時間いつでも行うことが可能となる。さらに、個品割賦に関する情報は、信販会社においてデータベース管理を行うことにより、加盟店でそのような情報を管理するコスト等が削減できる。

【0151】〔4-4. 顧客側のメリット〕また、顧客側から見ると、契約手続きが簡素化されるというメリットがある。すなわち、従来では、申込書や契約書は顧客が手書きで記入していたが、顧客パソコン3から個品割賦情報処理装置1へ情報を送って個品割賦の申込をするだけでなく、送られた情報を印字して契約書が作成されることにより、手書き記入がほとんど不要になる。

【0152】また、上記実施形態で例示したような画面構成は統一されているため、操作ならびに理解が容易であり、顧客による個品割賦の利用が容易になる。さらに、顧客は、審査状況の参照や契約内容の確認を24時間いつでも行うことが可能となる。すなわち、従来では、審査状況の参照などを行うためには、所定の時間帯に加盟店側に電話などで連絡するしか方法がなかったが、オープンネットワークを活用することにより、24時間いつでもそのような確認を行うことが可能となり、同様に、申込のキャンセルや保証人追加、クーリングオフの受付、住所や勤務先といった属性情報の修正も24時間いつでも可能となる。

【0153】〔4-5. 信販会社のメリット〕また、信販会社にとっても、申込情報の入力作業が不要になる。すなわち、従来では、顧客や加盟店で用意された申込情報は、加盟店から電話やFAXなどで信販会社に通知されていた。このため、信販会社は通知された申込情報を改めてタイプ入力しなければならなかったが、この入力の操作が不要になる。

【0154】また、信販会社にとって、顧客への確認業務が不要になる。すなわち、従来では、契約内容を確認する際、顧客の自宅や勤務先などへ電話して確認を行っていたが、オープンネットワークを活用することにより、24時間いつでもこのような確認・承諾が可能となるため、信販会社からの電話などを使った確認作業が不

要になる。

【0155】〔5. 他の実施の形態〕なお、本発明は上記実施形態に限定されるものではなく、次に例示するような他の実施形態も包含するものである。例えば、図1では、顧客パソコン3すなわち第1のコンピュータと、加盟店システム2すなわち第2のコンピュータと、個品割賦情報処理装置1と、をそれぞれ1つずつ示したが、これは概念的な例であって、第1のコンピュータは多数存在することが当然であり、第2のコンピュータも各加盟店に対応して多数存在することが望ましい。

【0156】また、第2のコンピュータは、1つの加盟店について、役割や機能ごとに複数にわかれて設置されていてもよい。さらに、個品割賦情報処理装置1についても、複数設けることによって負荷を分散させることが考えられる。

【0157】また、個品割賦の申込や、申込の加盟店への通知について、具体的な情報の項目は自由であり、また、加盟店への通知について、電子メールで加盟店システム2に通知するだけでなく、ファックスなどで加盟店に通知するようにしてもよい。また、オープンネットワークはインターネットには限定されず、現在存在し又は将来構築される他の広域ネットワークを使うこともできる。

【0158】また、申込情報の参照や承諾といった操作は、個品割賦の申込を行ったのと同じコンピュータから行う必要はなく、申込ID情報や会員ID情報によって、別のコンピュータから改めてログイン認証を受ければ足りる。また、顧客や加盟店に認める参照や操作の範囲は、具体的な運用の事情に応じて自由に定めることができる。

【0159】また、スコアリング基準などによる自動審査を行う場合、審査から審査結果の通知までの処理をすべて自動的に行うようにしてもよい。また、電子契約書を用いる場合、ユーザーサイトで申込内容の確認と承諾を行う際に暗号技術などを用いたデジタル署名を顧客が行うことにより、契約書の作成や発送、回収が不要となり、さらに、可決登録や集計を自動化することも可能である。

【0160】

【発明の効果】以上のように、本発明によれば、個品割賦に関する情報を、インターネットなどのオープンネットワークを経由して効率よく容易に処理する個品割賦情報処理装置及び方法、個品割賦情報処理システム並びに個品割賦情報処理用ソフトウェアを記録した記録媒体を提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施形態の構成を示す機能ブロック図。

【図2】本発明の実施形態における加盟店マスタファイル及び申込マスタファイルの構成例を示す図。

【図 3】本発明の実施形態における処理手順の一例を示すフローチャート。

【図 4】本発明の実施形態において、加盟店情報の処理に関する画面構成の一例を示す概念図。

【図 5】本発明の実施形態における加盟店情報メニュー画面の一例を示す図。

【図 6】本発明の実施形態における加盟店基本情報登録画面の一例を示す図。

【図 7】本発明の実施形態における加盟店条件登録画面の一例を示す図。

【図 8】本発明の実施形態における加盟店条件登録画面の他の例を示す図。

【図 9】本発明の実施形態における営業店情報登録画面の例を示す図。

【図 10】本発明の実施形態において、個品割賦に係る分割払いのシミュレーションに関する画面構成の一例を示す概念図。

【図 11】本発明の実施形態におけるシミュレーション入力画面の一例を示す図。

【図 12】本発明の実施形態におけるシミュレーション結果表示画面の一例を示す図。

【図 13】本発明の実施形態において、個品割賦の申込に関する画面構成の一例を示す概念図。

【図 14】本発明の実施形態における利用規約画面の一例を示す図。

【図 15】本発明の実施形態における支払方法選択画面の一例を示す図。

【図 16】本発明の実施形態における支払方法決定契約形態選択画面の一例を示す図。

【図 17】本発明の実施形態における勤め人用画面の一例を示す図。

【図 18】本発明の実施形態における主婦用画面の一例を示す図。

【図 19】本発明の実施形態における学生用画面の一例を示す図。

【図 20】本発明の実施形態における法人用画面の一例を示す図。

【図 21】本発明の実施形態における保証人用画面の一例を示す図。

【図 22】本発明の実施形態における登録内容確認画面の一例を示す図。

【図 23】本発明の実施形態における申込手続き完了画面の一例を示す図。

【図 24】本発明の実施形態において、個品割賦の申込に関する加盟店への通知の一例を示す図。

【図 25】本発明の実施形態における加盟店サイトの画面構成の一例を示す概念図。

【図 26】本発明の実施形態における加盟店サイトログイン画面の一例を示す図。

【図 27】本発明の実施形態における加盟店メニュー

覧画面の一例を示す図。

【図 28】本発明の実施形態における申込情報検索画面の一例を示す図。

【図 29】本発明の実施形態における申込情報表示画面の一例を示す図。

【図 30】本発明の実施形態におけるシミュレーション入力画面の一例を示す図。

【図 31】本発明の実施形態におけるシミュレーション結果表示画面の一例を示す図。

【図 32】本発明の実施形態における営業店サイトの画面構成の一例を示す概念図。

【図 33】本発明の実施形態における営業店サイトログイン画面の一例を示す図。

【図 34】本発明の実施形態における営業店メニュー覧画面の一例を示す図。

【図 35】本発明の実施形態における申込情報検索画面の一例を示す図。

【図 36】本発明の実施形態における申込情報表示画面の一例を示す図。

【図 37】本発明の実施形態において、申込内容を個品割賦情報処理装置から信販会社の営業店へ通知する場合について、通知内容の一例を示す図。

【図 38】本発明の実施形態におけるユーザーサイトの画面構成の一例を示す概念図。

【図 39】本発明の実施形態におけるユーザーサイトログイン画面の一例を示す図。

【図 40】本発明の実施形態におけるユーザーメニュー覧画面の一例を示す図。

【図 41】本発明の実施形態における申込内容確認画面の一例を示す図。

【図 42】本発明の実施形態において、個品割賦情報処理装置の契約書作成部によって作成される契約書の一例を示す図。

#### 【符号の説明】

1 … 個品割賦情報処理装置

2 … 加盟店システム

21 … 商品指定受付部

22 … 商品情報送信部

23 … 情報転送部

3 … 顧客パソコン

4 … 申込処理部

41 … 申込受付部

42 … 申込 ID 情報通知部

43 … 会員 ID 情報通知部

44 … 申込通知部

5 … シミュレーション部

6 … 審査支援部

61 … 自動審査部

62 … 審査結果登録部

63 … 審査結果通知部

- \* F 1…申込マスタファイル
- F 2…顧客マスタファイル
- F 3…完了マスタファイル
- F 4…加盟店マスタファイル
- F 5…営業店マスタファイル
- N…インターネット

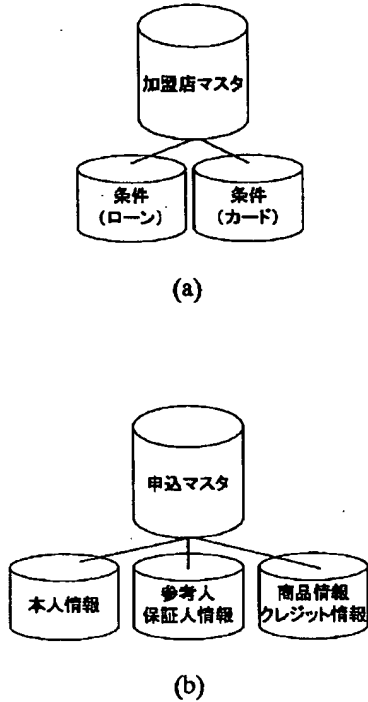
\*

[illegible]

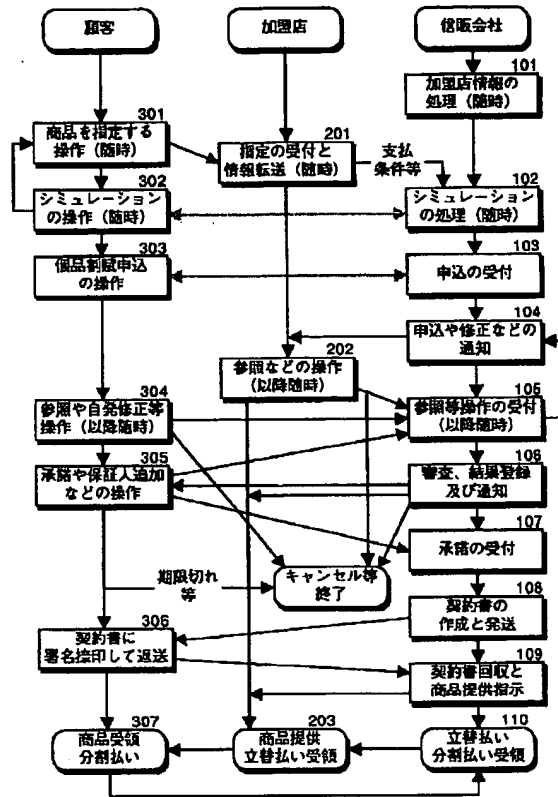
```

graph LR
    G11[加盟店情報メニュー画面  
(G11)] --> G12[加盟店基本情報登録画面  
(G12)]
    G12 --> G13[加盟店条件登録画面  
(G13)]
    G13 --> G14[営業店情報登録画面  
(G14)]
    G14 --- MF1[(加盟店マスターファイル)]
    G14 --- MF2[(加盟店マスターファイル)]
    
    Ref[参照] --> L1[加盟店一覧]
    L1 --> R1[加盟店情報参照]
    R1 --> D1[詳細情報を表示]
    
    Cor[修正] --> L2[加盟店一覧]
    L2 --> R2[加盟店情報修正]
    R2 --> D2[必要事項を修正]
    
    Del[削除] --> L3[加盟店一覧]
    L3 --> R3[加盟店情報削除]
    R3 --> D3[マスターごと削除]
  
```

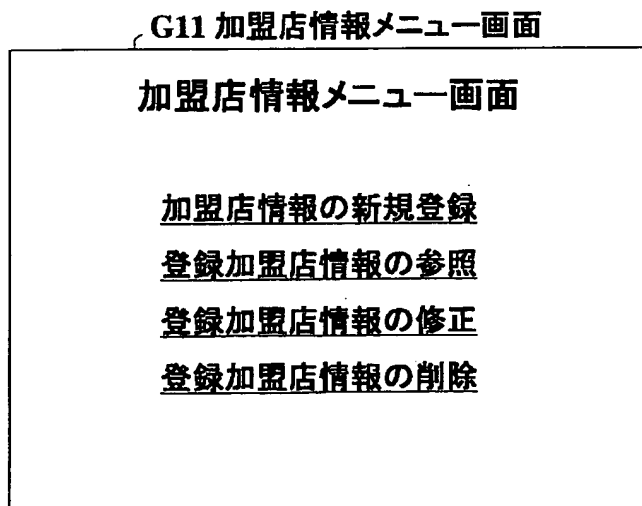
【図2】



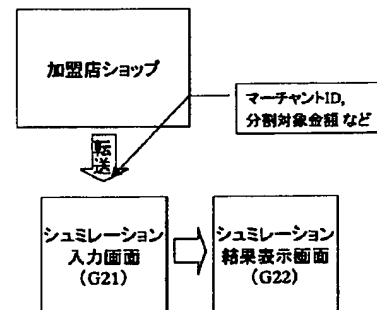
【図3】



【図5】



【図10】



## G12 加盟店基本情報登録画面

## 加盟店情報の新規登録

【加盟店基本情報の登録】

加盟店番号

マーチャントID

URL

【加盟店情報情報】

加盟店名称

番号

郵便

住所

電話番号

FAX番号

メールアドレス

担当者名

通知方法 ☐ FAX ☐ E-mail

次のステップへ進む →
クリア

### G13 加盟店条件登録画面

加盟店番号 XXXXXXXX 加盟店名称:NNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNN

〔ショッピングローン基本情報〕

□ 取扱契約番号

○ 分割 ○ 入力 ○ 現金 ○ 月利  %

	1	3	6	10	12	16	16	18	20	24	30	36	42	48	64	60
C																
%																

○ スキップ

	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	4ヶ月	6ヶ月	8ヶ月	7ヶ月	8ヶ月	9ヶ月	10ヶ月	11ヶ月	12ヶ月
C												
%												

○ ボーナス一括

	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	4ヶ月	6ヶ月	8ヶ月	7ヶ月	8ヶ月	9ヶ月	10ヶ月	11ヶ月	12ヶ月
C												
%												

○ ボーナス二括

% 最長繰上返済期間  ヶ月まで

次のステップへ進む →

クリア

契約可能回数  
をチェック

入力を指定した  
場合、金利  
が固定入力

2レコード  
程度作成





【図11】

## G21 シミュレーション入力画面

〇〇社のクレジット シミュレーション

販売店名:NNNNNNNN http://www.xxx.xxx.jp

クレジット対象金額: XXX,XXX,XXX 円

【以下の項目からお支払パターンを選択してください】

☐ ボーナス一括払い(金利:繰上置き1ヶ月あたりXXX%)

ボーナス支払月  月

☐ 分割払い(金利:月利XXX%)

分割回数  回

ボーナス併用回数  回 ボーナス併用月 夏  月 冬  月

ボーナス併用金額/回  円

※ボーナス併用金額の合計がお支払総額の1/2以下に設定する必要があります。

シミュレーション クリア

【図12】

## G22 シミュレーション結果表示画面

〇〇社のクレジット シミュレーション

お支払パターン	分割払い
お支払総額	XXX 円
分割払手数料合計	XXX,XXX 円
分割払手数料総額	XXX,XXX,XXX 円
支払総額合計	XXX,XXX,XXX 円
一括月の支払金額	XXX,XXX,XXX 円
二回月以降の支払金額	XXX,XXX,XXX 円
ボーナス加算額	XXX,XXX,XXX 円
ボーナス併用回数	XXX 回
初回ボーナス加算月	XXX 月
ボーナス加算月	夏 XXX 月 冬 XXX 月

【別のシミュレーションを実施】

クレジット対象金額: XXX,XXX,XXX 円

【以下の項目からお支払パターンを選択してください】

☐ ボーナス一括払い(金利:繰上置き1ヶ月あたりXXX%)

ボーナス支払月  月

☐ 分割払い(金利:月利XXX%)

分割回数  回

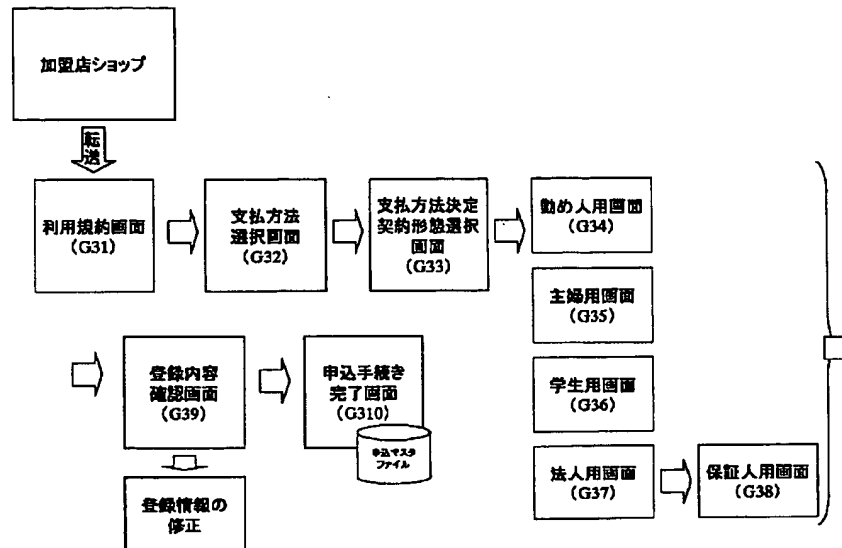
ボーナス併用回数  回 ボーナス併用月 夏  月 冬  月

ボーナス併用金額/回  円

※ボーナス併用金額の合計がお支払総額の1/2以下に設定する必要があります。

シミュレーション クリア

【図13】



【図14】

## G31 利用規約画面

〇〇社 インターネットショッピング ローン サイトへようこそ！  
 こちらのサイトでは、ショッピングローンにてお買い上げいただくためのシステムをご提供しております。  
 手続きはとっても簡単です。  
 信用情報機関への登録ならびに以下の利用規約に同意いただければ手続きを開始致します。

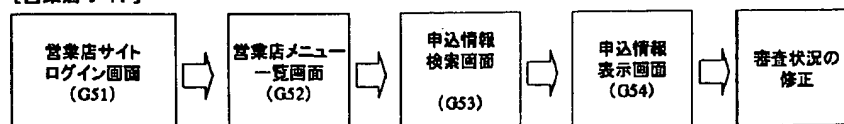
申込に対しての利用規約を表示

【同意します】ボタンを押すと申込手続きが開始します。  
 (同意されない場合は当サービスはご利用できませんのでご了承ください。)

同意する
同意しない

【図32】

## [営業店サイト]



【図15】

## G32 支払方法選択画面

支払方法選択

基本情報登録

登録内容確認

申込手続き完了

XXXXXXXX様 ○○社のクレジットのお申込ありがとうございます。  
販売店:XXXXXXXX

商品名	数量	金額

【以下の項目からお支払パターンを選択してください】

☐ボーナス一括払い(金利:お支払1ヶ月あたりXXX%)

ボーナス支払月

☐分割払い(金利:月利XXX%)

分割回数

ボーナス併用回数  回 ボーナス併用月 月  年

ボーナス併用金額/回  円

\*ボーナス併用金額の合計がお支払総額の1/2以下に設定する必要があります。

加盟店DBより表示

加盟店から送られた売上情報

支払方法を選択する

クリア

【図16】

## G33 支払方法決定契約形態選択画面

支払方法選択

基本情報登録

登録内容確認

申込手続き完了

【お支払内容をご確認ください】

お支払パターン	分割払い
お支払回数	XX回
お支払手数料金利	XXX.XXX%
お支払手数料額	XXX.XXX.XXX 円
お支払合計	XXX.XXX.XXX 円
一回目の支払金額	XXX.XXX.XXX 円
二回目の支払金額	XXX.XXX.XXX 円
ボーナス加算額	XXX.XXX.XXX 円
ボーナス加算回数	XX回
初回ボーナス前月	XX月
ボーナス加算月	月 XX月 年 XX月

スキップ or ボーナス一括などを表示する。

上記お支払内容でなければ以下の契約方法を選択し、次のステップへ進んで下さい。  
お支払方法を再度選択する場合は「戻る」ボタンを押して下さい。

戻ってもう一度支払方法を選択する

【契約方法を選択してください】

☐個人契約でお届けをされている

☐個人契約で主婦である(参考人として、ご主人様の情報登録が必要となります。)

☐個人契約で学生である(参考人として、父(母)の情報登録が必要となります。)

☐法人契約(代表者の連帯保証人が必要となります)

☐会員IDを持っている

次のステップへ進む

クリア

【図17】

## G34 勤め人用画面

<div>支払方法選択</div> <div>基本情報登録</div> <div>登録内容確認</div> <div>申込手続を完了</div>	【お申込人情報の登録】 おつとめの方用	
	名前(カナ)	<input type="text"/>
	名前(漢字)	<input type="text"/>
	性別	<input type="text"/> 生年月日 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日
	郵便番号	<input type="text"/>
	自宅住所(カナ)	<input type="text"/>
	自宅住所(漢字)	<input type="text"/>
	自宅電話番号	<input type="text"/>
	住居区分	<input type="text"/> 居住年数 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月
	職種区分	<input type="text"/>
	勤務先名称(カナ)	<input type="text"/>
	勤務先名称(漢字)	<input type="text"/>
	所属部署	<input type="text"/>
	郵便番号	<input type="text"/>
	勤務先住所(カナ)	<input type="text"/>
勤務先住所(漢字)	<input type="text"/>	
勤務先電話番号	<input type="text"/> 内線番号 <input type="text"/>	
勤続年数	<input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月	
営業内容	<input type="text"/>	
従業員数	<input type="text"/> 年収 <input type="text"/>	
配偶者有無	<input type="text"/> 子供 <input type="text"/> 人	
<div>次のステップへ進む →</div> <div>クリア</div>		

【図18】

## G35 主婦用画面

<div>支払方法選択</div> <div>基本情報登録</div> <div>登録内容確認</div> <div>申込手続を完了</div>	【お申込人情報の登録】 主婦用	
	名前(カナ)	<input type="text"/>
	名前(漢字)	<input type="text"/>
	性別	<input type="text"/> 生年月日 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日
	郵便番号	<input type="text"/>
	自宅住所(カナ)	<input type="text"/>
	自宅住所(漢字)	<input type="text"/>
	自宅電話番号	<input type="text"/>
	住居区分	<input type="text"/> 居住年数 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月
	【参考人の登録】	
	ご主人のお名前(カナ)	<input type="text"/>
	ご主人のお名前(漢字)	<input type="text"/>
	ご主人の生年月日	<input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日
	ご主人のおつとめ先	<input type="text"/>
	所属部署	<input type="text"/>
郵便番号	<input type="text"/>	
おつとめ先住所(カナ)	<input type="text"/>	
おつとめ先住所(漢字)	<input type="text"/>	
おつとめ先電話番号	<input type="text"/> 内線番号 <input type="text"/>	
勤続年数	<input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月	
営業内容	<input type="text"/> 年収 <input type="text"/>	
<div>次のステップへ進む →</div> <div>クリア</div>		

【図19】

## G36 学生用画面

<div>支払方法選択</div> <div>基本情報登録</div> <div>登録内容確認</div> <div>申込手続き完了</div>	【お申込人情報の登録】 学生用	
	名前(カナ)	<input type="text"/>
	名前(漢字)	<input type="text"/>
	性別	<input type="text"/> 生年月日 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日
	郵便番号	<input type="text"/>
	自宅住所(カナ)	<input type="text"/>
	自宅住所(漢字)	<input type="text"/>
	自宅電話番号	<input type="text"/>
	住居区分	<input type="text"/> 居住年数 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月
	学校名(カナ)	<input type="text"/>
	学校名(漢字)	<input type="text"/>
	学号	<input type="text"/>
	郵便番号	<input type="text"/>
	学校住所(カナ)	<input type="text"/>
	学校住所(漢字)	<input type="text"/>
	学校電話番号	<input type="text"/> 在学年数 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月
	【参考人情報】	
	父(母)のお名前	<input type="text"/>
	生年月日	<input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日
	ご両親の住所	<input type="text"/>
	ご両親の電話番号	<input type="text"/>
	<div>次のステップへ進む</div> <div>クリア</div>	

【図20】

## G37 法人用画面

<div>支払方法選択</div> <div>基本情報登録</div> <div>登録内容確認</div> <div>申込手続き完了</div>	【法人情報の登録】	
	勤務先名称(カナ)	<input type="text"/>
	勤務先名称(漢字)	<input type="text"/>
	郵便番号	<input type="text"/>
	登記簿住所(カナ)	<input type="text"/>
	登記簿住所(漢字)	<input type="text"/>
	代表電話番号	<input type="text"/>
	<div>次のステップで連帯保証人の登録を行う</div> <div>クリア</div>	

【図21】

## G38 保証人用画面

【連帯保証人の登録】 代表者をご登録願います。

名前(カナ)   
 名前(漢字)   
 性別  生年月日  年  月  日  
 郵便番号   
 自宅住所(カナ)   
 自宅住所(漢字)   
 自宅電話番号   
 住居区分  居住年数  年  月  
 店舗区分   
 勤務先名称(カナ)   
 勤務先名称(漢字)   
 所属部署   
 郵便番号   
 勤務先住所(カナ)   
 勤務先住所(漢字)   
 勤務先電話番号  内線番号   
 勤務年数  年  月  
 営業内容   
 従業員数  年収   
 配偶者有無  子供  人

支払方法選択   
 基本情報登録   
 登録内容確認   
 申込手続き完了

次のステップへ進む  クリア

【図22】

## G39 登録内容確認画面

申込情報の内容

販売店の情報 (販売店名、屋号、住所、電話番号など)

店名	屋号	金額

お支払パターン	分割払い
お支払回数	XX 回
分割払手数料金利	XX.XX%
分割払手数料額	XXX,XXX.XXX 円
支払金額合計	XXX,XXX.XXX 円
一回目の支払金額	XXX,XXX.XXX 円
二回目の支払金額	XXX,XXX.XXX 円
ボーナス返済額	XXX,XXX.XXX 円
ボーナス返済回数	XX 回
初回ボーナス返済月	XX 月
ボーナス返済月	後 XX 月 冬 XX 月

□会員IDを取得する。

次のステップで手続きはすべて完了致します  登録内容を修正する

【图 2 3】

### G310 申込手続き完了画面

支払方法選択

基本情報登録

登録内容確認

申込手続き完了

お客様番号とログインIDは以下の通りです。  
 お客様番号: XXXXXXXX  
 ログインID: XXXXXXXX

【会員登録を取得されたお客様へ】  
 お客様の会員IDとパスワードは以下の通りです。  
 会員ID: XXXXXXXX  
 パスワード: XXXXXXXX  
 この後、〇〇社にてお客様の信用調査を行います。

【流れ】  
 (1)〇〇社からお客様に調査結果を電子メールにてご連絡申し上げます。  
 (2)[http://www.\\*\\*\\*.co.jp/secure-service/](http://www.***.co.jp/secure-service/)にてアクセスし、会員内容の確認ならびに承認手続きをさせていただきます。  
 (3)承認手続き後、契約書をご郵送いたしますので、署名・捺印後、返信用封筒にてご返送ください。  
 (4)契約書が頂いた段階で手続きが完了となります。  
 (場合によって、店舗の電話をご連絡も申し上げます。)  
 (5)手続き完了後、販売店に完了の通知を行います。  
 (6)販売店は商品の出荷を行います。

【注意事項】  
 ・調査内容によっては、第三者保証人が必要となる場合があります。

【图 2 4】

インターネットショッピングローン申込通知書  
以下の申込がありましたので、ご連絡申し上げます。  
下記申込は〇〇社にて審査を行います。  
審査結果等については別途ご連絡申し上げます。

申込日: XXXX/XX/XX  
加盟店名: NNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNN  
[商品情報]  
申込番号: XXXXXXXXXXXXXXXX  
商品名: NNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNN  
数量: XXX  
現金価格: 99,999,999,999 円  
現金: 999,999,999 円  
売上元金: 99,999,999,999 円  
合計: 99,999,999,999 円  
分割払手数料: 999,999,999 円  
分割回数: 999 回

申込の詳細情報に関しては以下のアドレスにアクセスして  
ご確認ください。  
〇〇社加盟店サポートセンター  
[https://web-merchant.\\*\\*\\*\\*\\*mallor.jp/supports](https://web-merchant.*****mallor.jp/supports)



【図26】

## G41 加盟店サイトログイン画面

**〇〇 Co. Internet Merchant Service Center**

Merchant ID

Merchant PW

担当者番号:

＊担当者番号は必須項目ではありません。

ログイン

クリア

【図27】

## G42 加盟店メニュー一覧画面

メニュー一覧

申込情報

シュミレーション

【図28】

## G43 申込情報検索画面

### 申込情報の検索

☐ 申込日による検索     年  月  日 ~  年  月  日  
☐ 申込番号による検索      
☐ 受付番号による検索      
☐ 審査状況による検索     ▾  
☐ 承認番号による検索      
☐ 担当者番号による検索   

【図29】

## G431 申込情報表示画面

\* 担当者番号を入力した場合、該当する情報のみ表示される。

審査中、仮可決、否決、保留、キャンセルなどが表示

〇〇社の可否決登録した日付

可決以外の場合はスペース

No	申込日	受付番号	審査状況	可否登録日	申込番号	申込金額合計	お客様名	印刷番号

審査状況/登録履歴


リンクにより審査履歴を参照することができる

商品名    数量    金額    備考

1			
2			
3			
4			
合計			

リンクにより商品情報を参照することができる

リンクにてお客様の詳細情報へ

キャンセル、保証人追加

No  審査状況:  ▾ 理由:

【図30】

## G44 シミュレーション入力画面

**クレジット シミュレーション**

クレジット対象金額を入力し、お支払パターンを選択して下さい。

クレジット対象金額:  円

【以下の項目からお支払パターンを選択してください】

○ボーナス一括払い(金利: 繰上置き1ヶ月あたりXXX%)

ボーナス支払月  ▼

○分割払い(金利: 月利XXX%)

分割回数  ▼

ボーナス併用回数  回 ボーナス併用月 夏  ▼ 冬  ▼

ボーナス併用金額/回  円

※ボーナス併用金額の合計がお支払総額の1/2以下に設定する必要があります。

【図31】

## G441 シミュレーション結果表示画面

**〇〇社のクレジット シミュレーション**

お支払パターン	分割払い
お支払回数	XX 回
お支払手数料金利	XX.XXX%
お支払手数料総額	XXX.XXX.XXX 円
支払金額合計	XXX.XXX.XXX 円
一括前払金	XXX.XXX.XXX 円
一括前払金の支払金額	XXX.XXX.XXX 円
ボーナス前払金	XXX.XXX.XXX 円
ボーナス前払月数	XX 回
前払ボーナス前払月	XX 月
ボーナス前払月	夏 XX 月 冬 XX 月

【別のシミュレーションを実施】

クレジット対象金額:  円

【以下の項目からお支払パターンを選択してください】

○ボーナス一括払い(金利: 繰上置き1ヶ月あたりXXX%)

ボーナス支払月  ▼

○分割払い(金利: 月利XXX%)

分割回数  ▼

ボーナス併用回数  回 ボーナス併用月 夏  ▼ 冬  ▼

ボーナス併用金額/回  円

※ボーナス併用金額の合計がお支払総額の1/2以下に設定する必要があります。

【図33】

## G51 営業店サイトログイン画面

**〇〇 Co. Internet Sales Shop Site**

Member ID

Pass Word

担当者番号:

\* 担当者番号は必須項目ではありません。

ログイン

クリア

【図34】

## G52 営業店メニュー一覧画面

**メニュー一覧**

申込情報

シュミレーション



申込日：XX/XX/XXXX

XXXXXXXXXXXXXXXXX 支店 御中

インターネットショッピングローン申込書（本申込）

お名前	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	加盟店番号	XXXXXXX000
住上住所コード	XX XX XXXX	返済方法	XX 申込区分 X
【申込基本情報】			
カネ品名	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX		
性別区分	X(M)	生年月日	NN XX XX YY YYY
自宅電話番号	XX XXXX-XXXX	居住区分	X(M/N)
勤務先電話番号	XX XXXX-XXXX	内線番号	XXXXXX

氏子氏名	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX		
旧宅住所(カナ)	〒XXXX-XXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX		
旧宅住所(漢字)	XX		
居住区分	X(M/N)	居住年数	XX 年 XX ヶ月
職業区分	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX		
勤労主名称(カナ)	XX		
所属部署	XX		
勤労先住所(漢字)	〒XXXX-XXXX XX		
勤労先業種	XX 年 XX ヶ月	就業員区分	X(M/N)XXXXXXXXXXXX
年収	X(XXXXXNNN)	勤働者	X(O) 子供 X(X)人

(専業主婦・保証人) 専業主婦・保証人区分=X(NN)

カネ品名	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX (XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX)		
旧宅住所(カナ)	〒XXXX-XXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX		
旧宅住所(漢字)	XX		
旧宅電話番号	XX XXXX-XXXX		
居住区分	X(M/N)	居住年数	XX 年 XX ヶ月
職業区分	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX		
勤労主名称(カナ)	XX		
所属部署	XX		
勤労先住所(漢字)	〒XXXX-XXXX XX		
勤労先業種	XX 年 XX ヶ月	就業員区分	X(M/N)XXXXXXXXXXXX
年収	X(XXXXXNNN)	勤働者	X(O) 子供 X(X)人

【売上情報】

前月比	XXXXXX%	申込番号	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
前月比	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	数量	XXXX
現金販売	99,999,999,999 円	月会	999,999,999 円
売上定款	99,999,999,999 円	分利支払額	999,999,999 円 (999.99%)
合計	99,999,999,999 円		
分割回数	999 回	初回支払月	XXXXXX
初回支払金額	99,999,999,999 円	X 回目以降	999,999,999 円
ボーナス加算額	99,999,999,999 円	ボーナス引当金	999 回
X 年 X 月	XX 月、XX 月	前年度返済区分	X (NNNN)

【営業店入力欄】

審査結果：可決 ・ 却決 ・ キャンセル ・ 保留

印

```

graph LR
    G61[ユーザーサイト  
ログイン画面  
(G61)] --> G62[ユーザー  
メニュー画面  
(G62)]
    G62 --> G63[申込内容  
確認画面  
(G63)]
    G63 --> G64[属性情報の修正]
    G63 --> G65["契約の承諾  
キャンセル  
保証人追加  
クーリングオフ"]
  
```

Flowchart illustrating the process flow for the User Site:

- User Site Login Screen (G61) leads to User Menu Screen (G62).
- User Menu Screen (G62) leads to Application Content Confirmation Screen (G63).
- Application Content Confirmation Screen (G63) leads to Attribute Information Correction.
- Application Content Confirmation Screen (G63) leads to a list of actions: Agreement Confirmation, Cancellation, Guarantor Addition, and Cooling-off.

【図39】

## G61 ユーザーサイトログイン画面

**〇〇 Co. Internet User Support Center**

受付番号

認証ID

会員IDとパスワードをお持ちの方は以下よりログインできます。

受付番号

認証ID

ログイン

クリア

【図40】

## G62 ユーザーメニュー一覧画面

**ユーザーサイトメニュー画面**

申込内容の確認

属性情報の修正

【図41】

## G63 申込内容確認画面

可決以外の場合はスペース

〇〇社の可否決  
登録した日付

No	申込日	受付番号	審査状況	可否登録日	申込番号	申込金額合計	お客様名	承認番号

リンクにてお客様の詳細情報へ

	商品名	数量	金額	備考
1				
2				
3				
4				
合計				

リンクにより商品情報を参照することができる

No  アクション: ☐ ☒ ▼

・承認  
・キャンセル  
・保証人追加  
・クーリングオフ

実行



シヨッピングクレジット〇〇カード会員入会お申込書

[illegible]

名称:NNNNNNNNNNNNNN  
所在地:NNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNN  
电话番号:XX-XXXX-XXXX FAX番号:XX-XXXX-XXXX  
E-mail:xxxxxx@xxxxxxxxx.xxxx  
<http://www.xxxxx.xxx>

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☒ FADED TEXT OR DRAWING
- ☒ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**